

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話または窓口にて相談者にアドバイスを行ったり、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。

消費生活相談件数	618 件
----------	-------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐために地域包括支援センターと連携をとりながら、高齢者クラブを中心に
出前講座を開催した。出前講座では、消費生活センターの紹介、被害にあわないために気をつけること、これまでの事例をもとに市で作成した紙芝居を使ってわかりやすい講座を実施した。

また、子どもの頃からの消費者教育の重要性を認識し、小・中学校での出前授業を実施した。

小学校では、お買い物ゲームを通して、お金のつかい方を学ぶ体験型の授業を実施した。中学校においては、三重県司法書士会の協力を得て、日常生活に役立つ身近な法律の話を交えた講座を実施した。

出前講座件数 (高齢者クラブほか)	13 件
----------------------	------

出前授業実施校数 (小・中学校)	2 校
---------------------	-----

(3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないよう、関係各課に消費生活センターへの案内を依頼した。

多重債務について相談があった際は、消費生活センターにて相談を受け付け、基本的な事項を聴き取ったうえで、司法書士や弁護士事務所の紹介・相談予約を行った。多重債務者を確実に法律専門家へつなげることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、三重県司法書士会の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

多重債務相談件数	61 件
----------	------

2 融資対策事業

小規模事業者の資金運営の円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた事業者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

(1) 商工制度資金利子補給事業補助金

平成 18 年 12 月末までに小俣町商工会の斡旋により国・県の制度融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて、利子の補給補助を行った。

件数	利子補給補助金額	取扱金融機関名
1 件	563 円	日本政策金融公庫

(2) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または、小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
125 件	3,445,329 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や取引先の倒産などで緊急の事由により資金需要が発生した際、一定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証による新たな融資が受けられるように、「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数	根拠法令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	98 件	中小企業信用保険法第 2 条第 4 項第 5 号 H25.9.20～：中小企業信用保険法第 2 条第 5 項第 5 号（法改正施行に伴う項修正）

3 中小企業振興対策事業

地域経済を支える中小企業・小規模企業の経営改善及び経営基盤の強化を支援するため、伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び小俣町商工会が行う経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。

交付団体	事業内容	補助金額
伊勢中小企業相談所 （伊勢商工会議所）	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融機関の斡旋 など	円 10,000,000
小俣町商工会	中小企業等に対する ・経営指導、講習会の開催 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,850,000
計		17,850,000

4 商業活性化推進事業

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などを要因として、中心市街地商店街等の集客力・求心力が弱体化している。地域のコミュニティ機能の担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、買い物環境整備事業補助金、商店街空店舗対策事業、商店街活性化対策事業、商店街支援事業を実施した。

(1) 買い物環境整備事業補助金

市内の商業振興を図るために、地域住民や観光客の買い物環境の整備を目的に、消費者のニーズに応えた店舗や商店街づくり、購買の利便性を高める商業環境の整備を新たに実施する店舗や商店街等に補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額
伊勢明倫商店街協同組合	地域の情報発信掲示板等設置事業	719,000 円
(公社)伊勢市観光協会	伊勢の観光物産通販事業 「伊勢乃国発ええじゃないか便」	850,000
(公社)伊勢市観光協会青年部	商店街の魅力発掘・観光ツアー事業	160,000
伊勢旅館組合	伊勢旅館組合会員店舗情報整備事業	1,000,000
伊勢文化発信委員会	外宮参道ミニギャラリー開設と 外宮前土産の企画開発	117,000
伊勢ポイントカード協同組合	伊勢ポイントカード体力強化事業	692,000
計		3,538,000

(2) 商店街空店舗対策事業

中心市街地商店街の空店舗を解消し、中心市街地の活性化を図るために、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する「テナント確保支援事業」に補助金を交付した。この事業は、新規創業者の店舗開設及び経営の一助にもなっている。

テナント確保支援事業

	商店街名	名称	業種	補助金額
継続	新道商店街	Vinyl Cycle Records	中古レコード小売業	75,000 円
	新道商店街	ユメビトハウス	シェアハウス事業	91,250

新規	伊勢市駅前商店街	フェリスブラン	化粧品小売業	120,000	円
	新道商店街	3birds	食料品小売業	180,000	
	明倫商店街	うどんやちゃん	飲食業	150,000	
	浦之橋商店街	MAMPAN	食品製造販売業	90,000	
計				706,250	

(3) 商店街活性化対策事業

中心市街地商店街等の集客力及び機能回復を図り、中心市街地の活性化につなげるために、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために行う商業まちづくり補助金事業（公募）や三重県立明野高等学校との交流事業を行う商店街に対して補助金を交付した。

商業まちづくり補助金

交付団体	事業名	補助金額
新道商店街	式年遷宮を活かした商店街活性化イベント事業	350,000
伊勢市商店街連合会	伊勢市商店街連合会テレビコマーシャル放映による活性化PR事業	315,000
計		665,000

商店街活性化事業補助金

交付団体	事業名	補助金額
外宮参道発展会	外宮参道おもてなし事業	51,000
高柳商店街	明野高校おもてなし市	200,000
計		251,000

(4) 商店街支援事業

商店街の環境整備及び振興を図るため、伊勢市商店街連合会が行う商店街の街路灯等のLED化に係る調査に要する費用に対して補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額
伊勢市商店街連合会	伊勢市商店街連合会街路灯等LED化に係る調査研究事業	800,000 ^円
計		800,000

5 住宅・店舗リフォーム促進事業

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図ることを目的に、市民のリフォーム又は増改築の意識を促すべく、住宅や店舗のリフォーム又は増改築を行う者に対し、補助金を交付した。

区分	補助件数	補助金額
店舗	3 ^件	442,000 ^円
住宅・店舗併用	10	942,000
住宅	110	8,243,000
計	123	9,627,000

6 地域産品販売促進事業

伊勢の食材や特産品などの販路拡大や新規需要の開拓、全国における認知度の向上、伊勢の魅力を全国へ発信することを目的に、伊勢市産業振興会や伊勢市観光協会等の関係団体と連携し、首都圏、大都市圏において物産展や食材PRなどを行った。

開催日	内容	場所
25. 4. 12～14	春の全国ふるさと観光物産展 2013	せんちゅうパル (大阪府・豊中市)
25. 5. 20～31	産地フェア in 伊勢	一般社団法人日本橋倶楽部 (東京都・日本橋)
25. 5. 24～26	G. G. COLLECTION in TOKYO 2013	東京国際フォーラム (東京都・丸の内)
25. 6. 15～16	全国観光物産フェア ～ORC200で繋がる人と人～	ORC200 オーク会場 (大阪府・大阪市)
25. 9. 28～29	伊勢・鳥羽・志摩うまいもん列車	大阪上本町駅構内 (大阪府・大阪市)

25. 11. 22～24	伊勢の観光物産展	たまプラーザテラス (神奈川県・横浜市)
26. 3. 21～23	伊勢の観光物産展	東武池袋駅南口地下イベントスペース (東京都・豊島区)

・その他物産展等の状況

25. 12. 7～ 8	2013 中日三重お伊勢さんマラソン 伊勢志摩物産展	三重県営総合競技場周辺
26. 2. 16	第7回美し国三重市町対抗駅伝	三重県営総合競技場周辺

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。若年求職者・無業者に対して、それぞれの個別ケースに合わせた支援を実施することで、安定した就職の実現を目指した。

○伊勢市若者就職総合支援事業

国の設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、臨床心理士等による心理カウンセリング、適職診断、就労体験、講演会等を実施した。

- ・実施期間 平成25年4月5日～平成26年3月31日
- ・委託先 特定非営利活動法人いせコンビニネット
- ・委託料 3,986,585円
- ・実績
 - ・相談件数 延べ2,065件
 - ・臨床心理士等を配した面談による心理カウンセリング
実施回数：12回
利用者数：延べ24人
 - ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム
実施回数：30回
利用者数：延べ102人
 - ・講演会
実施回数：1回
参加者数：30人
 - ・セミナー・講座
実施回数：29回
利用者数：延べ114人

- ・就労体験
実施回数：74回
利用者数：延べ280人
- ・市内事業所見学会
実施回数：4回
利用者数：延べ21人
- ・ネットワーク会議
民間ネットワーク会議 平成25年6月17日 出席者数：27名
行政ネットワーク会議 平成26年2月20日 出席者数：9名

(2) 緊急雇用創出事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、短期的な雇用・就業機会の創出を目的として、12事業を実施した。

事業名	担当課	内容	新規雇用 延べ人数
市内周遊案内事業	観光事業課	神宮内宮前・外宮前のほか、伊勢市駅・宇治山田駅等の交通結節点、また、市内で開催される各種集大会・イベント等、市外からの観光客が集まる場において、市内の観光資源の案内及び各種交通機関を利用し、周遊する方法等を案内した。	5人
獣害対策強化事業	農林水産課	獣害被害を受けている地域を重点的にパトロールし、野生動物出没時に追払いを行った。	1
収納確保対策事業	収税課	インターネット公売の実施にあたり、公売資料に適した差押台帳の整備を行った。	3
教育用コンピュータ機器台帳作成事業	教育研究所	各小中学校に設置のコンピュータ機器の機種、OS・インストールソフトなどの現況調査を行い、基礎情報の整理、データベース化を行った。	2
道路占用物件調査事業	維持課	道路占用物件の状況を現地調査し、占用許可データと照合した。無届物件については現況をデータ化するとともに、所有者に適正な指導を行ない許可申請をするよう促した。	6
公共施設情報整理事業	情報調査室	市が保有する施設の建物情報、利用情報等について整理し、データ入力を行った。収集した情報について、施設の有効活用を図るため全庁的な共有を図る資料を作成した。	2

学校図書館・教材備品台帳等整備事業	教育総務課	市内各小中学校の教材備品及び学校図書館の台帳等を整備した。	18人
歴史的資料等整理事業	文化振興課	歴史的資料（造船資料、民俗資料等）の清掃、分類、カード作成、データ入力、保管等の整理作業を行った。	4
生活環境被害対策サポート事業	農林水産課	野生獣による生活環境被害が拡大するなか、住民生活の安全・安心を確保するための支援活動等諸業務を行った。	3
コミュニケーション支援事業	学校教育課	コミュニケーションに課題のある児童生徒の支援を行った。	3
観光客受入体制整備事業	観光事業課	ご遷宮を控えて、観光客に対する情報発信や受入体制を整えた。	2
起業者総合支援事業	産業支援課	起業者の人材確保の課題解決のため求職者を雇用し、雇用者の各種スキルアップに対する人材育成業務を委託した。	6
計			55

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費の補助を行った。

名称	一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町 13 番 13 号（サンライフ伊勢内）
実施事業	生活安定事業、健康管理事業、教室・生涯学習援助事業、余暇活動事業、余暇施設事業 など
補助金額	13,284,000 円（うち伊勢市負担金 10,300,000 円）
会員数 （平成 26 年 3 月）	709 事業所、4,255 人

(2) 勤労者ふれあい事業

10 月 13 日（日）県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E you・ゆう・遊ing」を開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約 20,000 人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高齢者労働対策事業

(1) 高齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	河崎1丁目4番35号
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業（軽作業）、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	20,743,000円
会員数等 (平成26年3月)	会員数858人、延べ就業人数84,826人 受託件数4,609件、契約金額359,716,098円

4 勤労者福祉施設管理運営事業

(1) サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成18年9月から指定管理者制度に移行しているため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成25年4月～平成26年3月分)
一般社団法人 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	5,582,000円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 422	件 115	件 521	件 270	件 820	件 19,814	件 21,962
利用者数	人 5,425	人 3,049	人 16,622	人 4,378	人 18,698	人 19,814	人 67,986

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
25. 4～26. 3	12,605,235円	513,730円	441,130円	13,560,095円

ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	延べ受講者数
趣味づくり	8種 10講座	294回	8,482人
健康づくり	7種 10講座	384回	8,754人
計	15種 20講座	678回	17,236人

(2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。

○ 伊勢市労働福祉会館運営委員会

平成 25 年 11 月 25 日 平成 24 年度及び平成 25 年度の利用状況について

・組 織

委員長 副市長

副委員長 産業観光部長

委員 労働者を代表する者 4 人

公益を代表する者 4 人

市職員を代表する者 2 人

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	大会議室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	第 4 会議室	計
利用件数	件 16	件 211	件 73	件 1	件 34	件 335
利用者数	人 1,000	人 3,271	人 1,167	人 20	人 290	人 5,748

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
25.4~26.3	529,334 円	32,820 円	101,210 円	663,364 円

(3) 労働福祉会館整備事業

施設整備工事を行い、施設環境の向上を図った。

○ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
勢 田 町 地 内	(注) 労働福祉会館外 構工事	防護柵工 L=52.4m 舗装工 A=6.2 m ² 車止ポスト設置工 N=5 か所	円 1,051,050	25.12.3	26.1.31
〃	(注) 労働福祉会館銘 板設置工事	銘板設置工 一式	403,200	25.12.24	26.1.28
〃	(注) 労働福祉会館給 水切替工事	給水切替工 一式	631,050	26.1.24	26.2.28
計	3 件	—	2,085,300	—	—

(注) 下水道建設課施行

5 伊勢市やすらぎ公園プール管理運営事業

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。

○ 開設状況

ア 開設期間 平成 25 年 7 月 6 日～8 月 31 日（通常営業 49 日間）

イ 有料入場者数

大人	小人	付添人	計
人 4,855	人 8,014	人 1,355	人 14,224

ウ 収入

入場料収入	ロッカー使用料	計
円 4,367,890	円 224,400	円 4,592,290

○ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
旭町 旭地内	やすらぎ公園プール 流水ポンプ取替工事	プール流水ポンプ取替 3 台	円 1,281,000	25. 5. 1	25. 6. 20

6 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。

なお、協調融資期間は 10 年間である。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高(平成 26 年 3 月)
0 件	0 円	2,340,000 円	2,287,875 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

産 業 支 援 課

○ 企業立地推進事業

1 アンケート調査の実施

(一財) 日本立地センターに委託して全国の企業を対象に他の自治体との合同形式のアンケート調査を実施した。

発送日：平成25年6月14日

発送数：21,000通

参加団体数：20団体

回収期限：平成25年7月5日

回収数：3,007通(回収率：14.32%)

対象業種：製造業(全般)、通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、道路貨物運送業、倉庫業、運輸に付帯するサービス業(梱包業等)、卸売業、小売業(製造を伴うもの)、学術研究機関(自然科学)、飲食店・飲食サービス業(製造を伴うもの)

内容：対象企業の事業見通しや立地計画等に関するアンケート調査、及び訪問による聞き取り調査、参加自治体の用地情報を掲載した「産業用地ダイジェスト」の送付等によるPR。

2 企業訪問の実施

企業訪問による企業誘致活動、工場新設及び増設計画の情報収集を実施した。また、市内企業の市外流出抑制のための営業活動を実施するとともに、市外企業については関係機関等とも連携し企業訪問を実施した。

訪問地域	訪問件数	備考
県外	63件	(首都圏16件、関西圏38件、中京圏9件)
県内(市内除く)	7	
市内	101	
計	171	

3 新聞広告等の掲載

立地用地、及び各種優遇制度について各種新聞紙面への広告掲載を行い周知に努めた。

新聞名	掲載日	発行部数
産経新聞（大阪北河内版）	25. 4. 18	140,000 部
中部経済新聞	25. 11. 13、25. 11. 23、 25. 12. 3	94,700

4 伊勢志摩地域産業活性化協議会

・構成 県市町 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・三重県

・目的 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律（企業立地促進法）に基づき、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本的な計画の策定及びその実施に関し必要な事項、その他地域における産業集積の形成又は産業集積の活性化に関し必要な事項について協議を行うことにより、当該地域における産業集積の形成及び産業集積の活性化のために当該地域の地方公共団体等が行う主体的かつ計画的な取組に寄与することを目的とする。

・負担金 1,504,340 円

（1）伊勢志摩地域企業連携セミナーin 関西の開催

伊勢志摩地域への企業立地に繋げるため、関西圏の企業関係者を一堂に会して情報発信を行い、交流を深めることを目的に開催した。

開催日時：平成 25 年 8 月 21 日（水）15：00～19：00

開催場所：帝国ホテル大阪 大阪市北区天満橋 1-8-50

出席者：163 人（関西の製造業を中心とした企業経営者及び役員、金融機関、ゼネコン、経済界で活躍されている地元出身者など。）

内容：受付 14：30～

第1部 企業立地セミナー 15：00～16：40

- ・主催者挨拶及び伊勢志摩地域の紹介
- ・三重県の企業投資促進制度の紹介
- ・記念講演会

講師：慶應義塾大学法学部教授 片山 善博 氏

第2部 交流会 17：00～19：00

- ・6 市町の首長と県副知事が地域についてプレゼン
- ・出席者との交流、情報交換
- ・伊勢志摩地域の食材による料理を提供

（2）基本計画の変更

伊勢志摩地域産業活性化協議会で協議を重ね平成 23 年度に策定した基本計画について、一部内容の変更について協議を行った。

（3）人材育成事業の実施

協議会の事業として「ビジネスに活かす Facebook 入門セミナー」を開催した。

会場	年月日	参加人数	内容
伊勢会場 (伊勢市産業支援センター)	26. 1. 15 26. 1. 23 (2日間)	延べ41名	初心者を対象に講座の内容をFacebookの基本的な使い方に絞り、具体的な事例を挙げその場で実際に操作しながらビジネスに活用できる技能を修得する。
志摩会場 (志摩市商工会館)	26. 1. 30 26. 2. 6 (2日間)	延べ19名	

5 企業誘致の実績

サン・サポート・スクエア伊勢へ2社の企業誘致を行った。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	契約日
(株) ゴーリキアイランド	金属製品製造業	6,059.25 m ²	74,310,000円	5人	25. 6. 12
ティアンドティ(株)	その他の製造業	3,189.89	46,572,000	12	25. 11. 28

また、2社とサン・サポート・スクエア伊勢への立地協定を締結した。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	立地協定締結日
(株)ふじよし	その他の製造業	3,998.68 m ²	57,796,000円	5人	26. 3. 28
(有)トラスト電器	電気機械器具製造業	3,000.70	43,810,000	6	26. 3. 28

全体面積 80,718 m²、立地決定済面積 69,876 m² (86.6%)

○ 工場等誘致奨励事業

1 企業立地用地ならびに各種奨励制度の周知

市内への工場等の誘致・誘導について、より一層推進するため、伊勢市ホームページ等による工業団地や各種奨励制度の周知に努めた。

2 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
ヤマナカフーズ(株)	43,052,100円	用地取得奨励金
(株)利八屋	19,219,800	用地取得奨励金
みえぎょれん販売(株)	34,561,800	用地取得奨励金

○ 企業立地推進一般経費

1 企業立地・産業支援研修会への参加

地域活性化につながる企業立地を一層推進するため、研修会に参加し職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
25. 11. 19 ~ 25. 11. 20	第 119 回産業立地研修会	東京都	(一財) 日本立地センター 最新の立地動向、他市の取り組み等の情報を得て、企業立地に関する見識を深めた。

2 企業立地用地の鑑定評価

サン・サポート・スクエア伊勢について、分譲のための区画変更に伴う土地評価額意見書の作成を依頼した。

3 企業立地用地の維持管理

サン・サポート・スクエア伊勢について、企業進出に伴いカラーポール電柱を3か所設置した他、市有地の草刈を行い適切な維持管理に務めた。

また、神菌工業団地において草刈を行い用地の適切な維持管理に努めた。

○ ものづくり推進事業

1 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者・団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、企業力の強化を図った。

補助金交付事業者及び交付額の決定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で、事業内容及び実績等の審査を行った。

事業者名	交付確定額	事業内容
藤本電器(株)	2,000,000 円	小型温度調整機向けインバータ制御基板開発事業

2 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
小野洋子	200,000 円	漆を使ったアクセサリーの開発及び販路開拓事業

3 新技術・地域資源開発補助事業補助金の交付

企業等が新たな技術を用いて、新規性のある商品等の開発を行う研究開発経費等に対し、補助

金を交付した。〔（一財）地域総合整備財団の補助事業〕

事業者名	交付額	事業内容
伊勢金型工業(株)	7,500,000円	加飾技術の高度化による付加価値向上技術の開発事業

4 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金の交付

創業・起業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対して、保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
14件	58,735円	百五銀行、三重銀行、三重信用金庫、みずほ銀行ほか

5 新しいお土産品開発支援事業業務の委託

御遷宮を機として伊勢志摩を訪れる観光客に、これまでのお土産物に加え、新しい時代のお土産物を開発提供することで、観光客の購買力を促し、この地域の関連事業所の活性化を図る目的として「伊勢の新しいおみやげコンテスト」を委託事業として実施した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市地内	新しいお土産品開発支援事業業務委託	コンテストを実施し、優秀作品に対して専門家による商品力強化支援等を行い、商品化を目指す事業	円 997,500	25. 7. 12	26. 3. 31

6 (株)三重TLOへの加入及び関係機関との連携

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、大学等のシーズの収集などが安易にできる環境を整えた。

また、国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制の繋がりを太くした。

7 伊勢市産業支援センター運営協議会

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などから構成される運営協議会を開催し、地域企業の意見を施策に反映したり、関係団体との連携・調整に努めた。また、指定管理者による運営について意見聴取を行った。

8 近隣地域のインキュベーション施設担当者との会議等への参加

起業支援業務に関して、近隣地域との情報交換、支援策説明会受講による職員の資質向上のため、会議等に参加した。

(3) 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
木村 全男	平成 25 年 6 月から	伊勢志摩ポータルサイトの構築
井上 裕喜	平成 25 年 6 月から	個人向けネットビジネス起業コンサルティング及びサポート人材育成 対人性向上など各種カウンセリング 自分発見・自分創造カウンセリング
酒谷 要	平成 24 年 9 月から 平成 25 年 8 月まで	ホームページの作成・運用・管理 チラシ等、広告の制作 市内求人情報の発信サイトの運用

(4) 起業スキルアップセミナー及び起業意識啓発セミナーの開催

開催日	講座名	講師	受講者数
25. 9. 28	女性のための起業セミナー	(有)ヒキタ経営情報事務所 中小企業診断士 疋田 真也 氏	11 人
25. 10. 12 25. 10. 19	創業知識習得講座	(有)ヒキタ経営情報事務所 中小企業診断士 疋田 真也 氏	11 人 (延べ 21 人)
25. 11. 21	新産業創出・起業セミナー	日立造船(株) 精密機械本部 電子制御 ビジネスユニット 事業推進室 主席技師 神崎 政之 氏	22 人

2 技術力向上支援（企業力の強化）

(1) 企業支援員及び職員による企業訪問及び支援

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握しその解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を配置した。また、職員も企業訪問を行い、市内企業の状況把握、他団体等の企業支援メニューの紹介等を行った。 企業訪問件数 1,245 件（471 社）

3 販売力向上、販路拡大支援（企業力の強化）

(1) 大都市圏等展示会への視察・出展支援事業

①名古屋で開催されたしんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2013」の展示会にブースを出展し、市内企業と共に商品PR等に努めた。また、展示会出展を計画している事業所及び新たな企業とのマッチングを求めている事業所などが視察を行なった。

ア 開催日 平成 25 年 11 月 1 日（金）

イ 開催場所 ポートメッセなごや

ウ 参加企業 8 社 17 人

エ 視察企業 8 社 8 人

②大阪で開催された「ビジネスフェスタ 2013・ビジネスチャンス発掘フェア」の視察を行なった。

ア 開催日 平成 25 年 11 月 27 日（水）

イ 開催場所 マイドームおおさか

ウ 視察企業 8 社 13 人

③「中部ものづくり基盤技術展」へブースを出展し、当施設及び当BI施設入居企業のPRを

行った。

ア 開催日 平成 26 年 2 月 18 日（火）～19 日（水）

イ 開催場所 名古屋市中心企業振興会館吹上ホール

(2) Web による企業情報紹介（伊勢市ものづくり企業データベース）及び情報発信力強化

新たな外注・発注先や、協力工場探し・工場検索、企業連携先の探索などの利用のため、伊勢市内に立地する製造業関連の事業所・企業情報を掲載した。また、市が行っている製造業関連の事業所を対象とした補助金の情報や、各種研修など企業支援情報のほか、国・県などの支援事業を掲載した。

4 人材育成支援（企業力の強化）

(1) ものづくり人材育成セミナーの開催

開催日	講座名・タイトル等	講師	受講者数
25. 4. 11	三重県・国の助成金等制度説明会（注 1）		25 人
25. 6. 20	M-EMS 環境プログラム普及講座（注 1）	一般社団法人 M-EMS 認証機構 代表理事 田中 正一 氏	9 人
25. 6. 20 25. 6. 21	貿易実務講座（基礎編） （注 2）	貿易アドバイザー 前田 直明 氏	延べ 59 人
25. 7. 12 ～ 26. 2. 10 全 12 回	製造管理者育成基礎講座 （注 1）（注 3） （三重県の受託事業）	シンフォニアテクノロジー(株) 能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	14 社 延べ 189 人
25. 9. 3	FaceBook ビジネス活用セミナー（注 1）	(株)はちえん。 代表取締役 坂田 誠 氏	25 人
25. 10. 4	しんきんビジネスフェアに向けたディスプレイセミナー（注 1）	(株)空間研究室 代表取締役 田屋 秀俊 氏	36 人
25. 11. 26 25. 11. 27	貿易実務講座（応用編） （注 2）	貿易アドバイザー 前田 直明 氏	延べ 20 人
25. 11. 28	中小企業のための事業承継 （注 1）	中小企業基盤整備機構 中部本部 事業承継コーディネーター 水野 輝彦 氏	22 人
25. 11. 29	消費税率アップにおける業務対応（注 2）	(株)創研 中小企業診断士 西原 裕 氏	17 人
25. 12. 5	3Dプリンター活用セミナー （注 1）	丸紅情報システムズ(株) 製造ソリューション事業本部 池田 雄一 氏	39 人
26. 1. 15	お客様の“心に寄り添う”接客術（注 2）	LeapCreation 代表 前田 京子 氏	27 人

26. 2. 12	従業員スキルアップセミナー (注 1)	パナソニックエコソリューションズ 創研(株) 企業内訓練インストラクター 田中 豊 氏	29 人
26. 2. 5	プレゼンテーション能力強化 セミナー (注 2)	LLP 研修コンシェルジュ 代表 中小企業診断士 井出 美由樹 氏	34 人
26. 3. 5	マネージメントセミナー (注 1)	シンフォニアテクノロジー(株) 能力開発センター チーフインストラクター 村山 昌彦 氏	46 人
26. 1. 15 26. 1. 23	FaceBook 入門セミナー(注 1) (伊勢志摩地域産業活性化協議 会との共催)	(株)アーリーバード L A B ディレクター 西岡 友幸 氏	延べ 41 人

開催場所・・・(注 1)産業支援センター 研修室

(注 2)伊勢商工会議所 5階大ホール

(注 3)シンフォニアテクノロジー(株)五十鈴寮 研修室

5 連携の促進

(1) 先進地域等広域ネットワーク構築事業

事業を展開していく上で、先進企業、大学、研究機関をはじめ様々な外部機関（人材）との交流による気づきや連携が重要であるため、市内企業に対して広域的な企業や大学、研究機関等との交流機会を提供する一環として、継続して交流を深めている大阪府八尾市の「バリテク研究会」が出展している、大阪市で開かれたビジネスフェスタ 2013 を見学し、連携を深めた。

(2) 大学・高専等との連携事業

中小企業の課題に対して、三重大学、三重大学社会連携研究センター、(株)三重TLO、鈴鹿高専、鳥羽商船高専、三重県工業研究所と連携し、それぞれが持つシーズ利用による新分野開拓、共同研究、相談等対応できるよう橋渡しを行った。

6 地域伝統技術の活用

(1) 地域伝統技術講習会・講座等の開催

① 伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験してもらった。

ア 開催日 平成 25 年 6 月 6 日 (木) ～ 8 月 1 日 (木) 毎週木曜日 全 9 回

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

ウ 講師 元・工芸指導所長 西井 幸平 氏

エ 受講者数 8 人 (延べ 71 人)

② 漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法習得に取り組んだ(昭和 61 年 5 月から開催)。昨年に引き続き、漆芸の基礎を学

んだ方を対象に「総合漆芸講座」「拭漆講座」を開催した。本年度は初心者向けの「紙胎漆器講座」、補習講座としての「漆芸一般講座」「蒔絵講座」を開催した。また、漆芸を学んだ人で、情熱をもって漆芸を続けたい人に制作場所を提供し学んでもらう場として「漆芸自主講座」を開催した。

- ア 開催日 各コース 週1回
- イ 回数 131回
- ウ 場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- エ 講師 元・神宮司廳造営局神宝装束部長 神原 佑司 氏
元・工芸指導所長 西井 幸平 氏
- オ 受講者数 32人（延べ745人）
- カ 自主講座 全49回、8人（延べ311人）

③ 木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

- ア 開催日 月2回（第2・4土曜日）
- イ 講座回数 全22回
- ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室
- エ 講師 家具職人 井坂 益水 氏
- オ 受講者数 10人（延べ202人）
- カ 自主活動 全23回、9人（延べ110人）

7 雇用・就労支援

市内ものづくり企業等の人材確保と雇用のミスマッチを防ぐことを目的とし、南勢地域県立高校8校の教諭（延べ33人）が、3月4日、5日に、市内企業8社を訪問しそれぞれの企業の内容を把握した。

また、技術系の人材確保を目的に、6月25日、7月9日、16日及び9月17日、18日に、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し（延べ学生243人、引率20人が参加）、地元企業が企業概要や独自技術を学生にPRし、将来の雇用につながるよう努めた。

8 計画・推進体制の確立

（1）企業データベース、企業カルテの整備

企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問や支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

（2）市内製造事業者アンケートの調査

市内製造企業534社（回収率24.2%）へアンケートを送付し、企業形態や特徴・業況・課題等を把握した。

9 その他

(1) 企業支援情報の発信

市内中小製造業者に対して、伊勢市産業支援センター及び関連機関の企業支援に関する情報を、メールマガジンとダイレクトメールにて情報提供を行った。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	269社	52回
ダイレクトメール(郵送)	547	3

(2) 材料試験及び化学分析機器、木工機械等の利用貸出

利用種別	件数
材料試験	8件
化学分析機器の利用	68
木工機械の利用	32
その他機器の貸出	4

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 33,803,000 円

構成7市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 124 件 (平成 26 年 3 月末現在)

25 年度新規認定 8 件

(2) 効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)
利用権設定 (累積)	481.2
H25.4~H26.3 実績	
設 定	101.4
中途解約・期限切れ	67.4
所有権移転	0.8

3 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		対象件数	利子補給額	備考
農業近代化 資金	上半期	80 件	243,384 円	市単独事業
	下半期	86	234,857	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		7	268,750	うち県補助金 126,581 円
計		173	746,991	

4 新規就農者総合支援事業費補助金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

給付額 8,250,000 円 (1,500,000 円×対象者 5 名分+750,000 円 (半期分) ×対象者 1 名分)

5 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成 25 年度除外予定分

利用計画変更分	件数	面積
農用地除外	17 件	45,373 m ²
農用地編入	0	—
用途変更	3	10,475

事業費 145,900 円 (市単独事業)

6 農業振興事業

農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。

(1) 蓮台寺柿保存育成事業補助金

350 年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体 蓮台寺柿保存育成研究会

事業費 320,800 円

補助額 45,000 円

(2) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

補助額 120,000 円 (20,000 円/1 名×市内在住 6 名分)

(3) 三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

補助額 40,000 円 (10,000 円/1 名×市内在住 4 名分)

(4) 農業振興補助金

農業の持続的発展及び農村の振興に資する農業者等の行う事業に対して補助金を交付し、支援を行った。

交付先	補助内容	事業費 (円)	補助額 (円)
J A伊勢青ねぎ部会	ネギ定植機購入	847,620	267,000
明野生産調整実行組合	小麦播種機購入	882,000	264,600
伊勢アグリ・トラスト	トラクター購入	5,302,500	1,590,750
伊勢農業協同組合	担い手の育成及び農業経営基盤の強化のためのシステムづくり	1,230,075	369,000
宮前生産調整実行組合	小麦播種機購入	882,000	264,600
計	5件	9,144,195	2,755,950

7 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市農業再生協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	23年産	24年産	25年産
水稻作付面積目標	1,666 ha	1,678 ha	1,680 ha
作付段階における主食用作付面積	1,741	1,658	1,615

8 農業者戸別所得補償制度推進事業

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。

事業費 6,000,000円 (全額国補助金)

9 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

平成19年12月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成25年7月認定店 11店舗 (内訳：飲食店10、小売店1)

※累積：58店舗 (内訳：飲食店38、宿泊施設2、小売店7、直売所5、量販店6)

事業費 323,465円 (市単独事業)

10 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して

支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 有限会社 お伊勢さん

事業内容 伊勢志摩地域の伝統食品である「きんこ芋」の生産量が年々減少しているため、原料である「はやと芋」や「紅はやと」の増産に必要な機械を導入し、生産量の増加を図った。

事業費 770,000 円

補助額 250,000 円（市単独事業）

11 農業体験学習事業

食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

事業費 546,269 円（市単独事業）

実施日	対 象	内 容	備考
25. 5. 17	有緝小 5年生 (107人)	水稲 (田植え:小俣町地内)	※稲刈りに ついては、 雨天のため 5校中止
〃	小俣小 5年生 (111人)	水稲 (田植え:小俣町地内)	
25. 5. 21	東大淀小 5年生 (29人)	水稲 (田植え:村松町地内)	
〃	修道小 5年生 (56人)	水稲 (田植え:小俣町地内)	
〃	宮山小 5年生 (41人)	水稲 (田植え:小俣町地内)	
〃	早修小 5年生 (14人)	水稲 (田植え:小俣町地内)	
25. 9. 9	有緝小 5年生 (107人)	水稲 (稲刈り:小俣町地内)	
〃	小俣小 5年生 (111人)	水稲 (稲刈り:小俣町地内)	
25. 11. 7	佐八小 3年生 (17人)	蓮台寺柿収穫体験・柿選果場見学 (収穫等:勢田町)	

12 6次産業化推進事業

6次産業化という新しい農林水産業経営の考え方を地域の農林漁業者等に周知・定着を図り、経営向上に向けた6次産業化への機運の醸成を図った。

6次産業化研修会の開催（平成26年2月21日）

6次産業化啓発チラシの作成 5,000部

事業費 107,990 円（市単独事業）

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
神 社 港 地 内	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物 回収運搬業務委託	巡視 21回 堆積物回収運搬 20回	円 288,750	25. 4. 1	26. 3. 31

馬瀬町内 馬地	馬瀬川除草業務委託	草刈り 一式	円 94,500	25. 4. 26	25. 5. 31
栗野町内 地	菱川除草業務委託	草刈り 一式	66,000	25. 7. 8	25. 7. 19
西豊浜町内 地	農業用排水路支障木 伐倒業務委託	雑木伐倒処分 一式	84,000	25. 7. 22	25. 7. 26
計	4 件	—	533,250	—	—

(注)維持課へ執行委任

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
一之木5丁目 地	農道路肩修繕工事	農道修繕 L = 5.0m	円 99,750	25. 4. 1	25. 4. 4
柏町内 地	農道修繕工事	農道修繕 A = 178.0 m ²	471,450	25. 4. 3	25. 4. 15
西豊浜町内 地	農業用排水路修繕工事	排水路修繕 一式	99,750	25. 6. 28	25. 7. 2
一之木4丁目 地	ホトス池法面修繕工事	池法面修繕 一式	99,750	25. 7. 22	25. 7. 22
上野町内 地	農業用排水路浚渫工事	排水路浚渫 一式	92,400	25. 9. 2	25. 9. 30
佐八町内 地	農業用排水路法面修繕 工事	排水路法面修繕 一式	42,000	26. 2. 13	26. 2. 13
上野町内 地	農業用排水路修繕(その 2) 工事	排水路修繕 N = 2か所	199,500	26. 2. 13	26. 3. 20
円座町内 地	農業用排水路法面修繕 (その2) 工事	排水路法面修繕 一式	99,750	26. 2. 18	26. 3. 18
上野町内 地	農業用排水路法面修繕 (その3) 工事	排水路法面修繕 一式	99,750	26. 3. 14	26. 3. 24
計	9 件	—	1,304,100	—	—

ウ 重機借上・原材料支給

	施行場所	金額
重機借上	御菌町小林地内 ほか10件	円 2,257,395
原材料支給	上野町地内 ほか8件	1,386,821
計	—	3,644,216

2 農地・水保全管理支払交付金事業

(1) 共同活動支援

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の農業用資源の持つ多面的機能の適正な発揮のため、市内 21 の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援、推進を行った。

実施地区 21 組織(一色、西豊浜森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜上区)

実施面積 1,407.99 ha

支援金総額 44,182,720 円 (伊勢市負担分 11,045,680 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(2) 向上活動支援

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対して支援を行った。支援対象については、21 組織のうち老朽化が最も進む 7 組織である。

実施地区 7 組織(一色、柏、栗野、津村、楠部、磯、二見町西)

実施面積 280.17 ha

支援金総額 11,490,600 円 (伊勢市負担分 2,872,650 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(「民話の駅蘇民」、「しょうぶ園」)について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 4,812,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 25 年 4 月	30 日	10,570 人
平成 25 年 5 月	31	12,249
平成 25 年 6 月	30	15,359
平成 25 年 7 月	30	12,083
平成 25 年 8 月	28	10,221
平成 25 年 9 月	30	10,476

平成 25 年 10 月	31 日	8,811 人
平成 25 年 11 月	30	10,478
平成 25 年 12 月	31	12,527
平成 26 年 1 月	28	9,013
平成 26 年 2 月	27	9,057
平成 26 年 3 月	31	10,993
計	357	131,837

(2) 工事関係

施設の機能向上を図るため工事を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町松下 地 内	しょうぶ園水路修繕 工事	水路修繕 一式	円 546,000	26. 2. 24	26. 3. 24

4 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・ 施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・ 指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・ 指定管理委託期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
- ・ 指定管理委託料 2,099,000 円
- ・ 施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 25 年 4 月	26 日	3,379 人
平成 25 年 5 月	23	676
平成 25 年 6 月	22	1,164
平成 25 年 7 月	23	790
平成 25 年 8 月	22	747
平成 25 年 9 月	23	649
平成 25 年 10 月	21	614
平成 25 年 11 月	23	1,056
平成 25 年 12 月	22	902
平成 26 年 1 月	21	526
平成 26 年 2 月	18	543
平成 26 年 3 月	21	858
計	265	11,904

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1) 市有建物の貸付

所在地	構造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期間
小俣町湯田 55番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自 25. 4. 1 至 26. 3. 31

(2) 工事関係

下水道の共用開始に伴い、施設の排水設備接続工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町湯田 地内	サンファームおばた 排水設備工事	排水設備 一式	円 1,137,150	25.12.20	26. 2.28

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日
- ・指定管理委託料 174,000円
- ・施設利用状況等 年間利用回数108回
年間利用人数1,382人(延べ人数)

7 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託し、樋門の機能保持及び安全管理を図った。

(1) 県所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会長	円 20,600
江川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500

土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会区長	円 16,500
土路西条 5号	磯町	磯町自治会区長	16,500
矢田川	楠部町	楠部町自治会長	20,600
津村	津村町	津村町区長	16,500
宮沼	〃	〃	20,600
名古屋新田	二見町山田原	二見町三津区長	20,600
計	9樋門	—	173,100

(2)市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会区長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相合端	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会区長	16,500
中島	〃	小川区農事部長	16,500
郷垣外	東豊浜町	〃	14,450
中坪井	西豊浜町	〃	16,500
下坪井	東豊浜町	東豊浜町西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	〃	土路区町会長	16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会自治会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500

地蔵池	村松町	有滝町会長	円 14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
イナ川	有滝町	〃	16,500
西曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀池	村松町	村松町会長	24,700
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600
明野	〃	〃	15,000
東勘坊	柏町	柏町会長	17,600
大切戸	一色町	一色町自治会区長	20,600
戸部神	〃	〃	16,500
中渠	楠部町	楠部町自治会長	17,600
小畑	中村町	中村土地改良区理事長	15,000
八郎兵衛	鹿海町	鹿海町自治会長	20,600
西新田	〃	〃	16,500
西沖	朝熊町	朝熊町自治会長	16,500
保田	〃	朝熊町自治会長	16,500
立岩	〃	〃	14,600
貝楠部	〃	〃	16,500
亀ヶ森	〃	〃	14,600
橘第二	〃	〃	14,600
橘	〃	〃	16,500
浜田	〃	〃	16,500
子良江古	〃	〃	16,500
雨渕川	上野町	上野町区長	16,500

西	二見町西	二見町西区長	円 14,450
計	42樋門	—	703,050

(3)樋門修繕

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町地内	堀の内樋門修繕工事	樋門修繕 一式	円 60,900	25. 5. 10	25. 5. 24
東豊浜町地内	郷垣外樋門修繕工事	樋門修繕 一式	92,400	25. 5. 10	25. 5. 21
二見町江内	二見町江樋門修繕工事	樋門修繕 一式	63,000	25. 10. 4	25. 10. 18
有滝町地内	豊北漁港イナ川樋門修繕工事	樋門修繕 一式	388,500	25. 10. 28	25. 12. 26
東豊浜町地内	浜樋門補修工事	樋門修繕 一式	99,750	26. 3. 24	26. 3. 28
計	5件	—	704,550	—	—

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に設置した陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 県所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会長	円 11,000

(2) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
西条第1～6陸こう門	東豊浜町	東豊浜町西条自治会長	円 33,000
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会長	44,000
有滝第1～6陸こう門	有滝町	有滝町会長	33,000
土路第1～5陸こう門	東豊浜町	土路区町会長	27,500
計	4件	—	137,500

(3)陸こう門修繕

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港土路第 4 陸 閘ほか修繕工事	陸閘修繕 N=8 基	円 92,400	25. 5.14	25. 5.31
村 松 町 地 内	村松漁港村松第 8 陸 閘ほか修繕工事	陸閘修繕 N=3 基 陸閘給油 N=7 基	98,700	25. 5.14	25. 5.24
計	2 件	—	191,100	—	—

9 排水機場維持管理

(1)農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼動している公共性の高い排水機場について維持管理委託、または電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

ア 委託関係

排水機場名	所 在 地	委 託 先	委 託 料
野 口 排 水 機 場	東 大 淀 町	東大淀土地改良区	円 50,000

イ 補助金

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 930,516
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	81,860
有滝第 2 排水機場	伊勢北部土地改良区	711,966
社護神排水機場	有滝土地改良区	325,809
豊浜第 2 排水機場	豊浜土地改良区	26,510
計	5件	2,076,661

ウ 小修繕関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
有 滝 町 地 内	有滝第二排水機場水 位計修繕工事	水位計修繕 一式	円 88,200	25. 9.10	25. 9.10
村 松 町 地 内	村松排水機場流木等 防除ネット取付工事	除塵設備整備 一式	63,000	25.12. 6	25.12.13
〃	村松排水機場除塵機 用コンテナ改良工事	除塵設備整備 一式	119,700	25.12.20	26. 1.23
計	3 件	—	270,900	—	—

(2) 湛水防除事業により整備された排水機場について、施設の適正な機能保全の確保と、排水機場の運転及び各施設と連動した運転を安全、円滑に運用していくため、段階的・年次的に整備計画を立案し、更新整備を行っていく必要があることから、今後の施設更新実施に向けた基礎データ資料として活用するため、排水機場台帳を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地内	排水機場台帳整備業務委託	排水機場台帳一式	円 493,500	26. 2. 10	26. 3. 28

(3) 村松排水機場に設置されている除塵機において、老朽化による機能の低下が著しいため、更新整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町内 地内	(注1)(注2) 村松排水機場除塵機整備工事	除塵機整備一式	円 37,540,650	24. 11. 9	25. 5. 31

(注1) 維持課より執行委任

(注2) 平成24年度から一部繰越

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種類	肉用牛			乳牛			肉豚			採卵鶏		
	23	24	25	23	24	25	23	24	25	23	24	25
頭羽数 (頭羽)	526	550	322	7	7	7	592	600	570	25,400	26,300	23,800
戸数 (戸)	6	6	6	1	1	1	1	1	1	5	5	5

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 株式会社 三重県松阪食肉公社

補助金 3,386,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 農道整備事業

農業用道路において、未舗装部分を改良することにより適切な維持管理を行い、農業用車両の

安全な通行に努めた。また、次年度に施工を予定している箇所において、測量・設計を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
田尻町内 地	農道整備工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	円 2,657,550	25. 8. 30	25. 11. 7
西豊浜町内 地	農道整備（その2）工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	1,564,500	25. 8. 30	26. 1. 24
田尻町内 地	農道整備工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	945,000	25. 9. 13	25. 11. 21
西豊浜町内 地	農道整備（その2）工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	997,500	25. 9. 13	26. 2. 28
一色町内 地	農道整備（その3）工事に伴う測量業務委託	測量業務一式	808,500	25. 11. 8	26. 1. 16
〃	農道整備（その3）工事に伴う設計業務委託	設計業務一式	1,144,500	25. 12. 20	26. 3. 19
計	6件	—	8,117,550	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町内 地	農道舗装（その1）工事	L = 59.0m	円 787,500	25. 9. 30	25. 11. 18
楠部町内 地	（注） 農道舗装（その3）工事	L = 71.0m	840,000	25. 11. 19	25. 12. 10
磯地町内 地	（注） 農道舗装（その2）工事	L = 232.3m	2,110,500	25. 12. 6	26. 1. 24
円座町内 地	（注） 農道舗装（その4）工事	L = 347.5m	3,929,100	25. 12. 20	26. 2. 17
御菌町高向 地	農道舗装（その5）工事	L = 103.5m	1,761,900	25. 12. 20	26. 2. 17
柏地町内 地	（注） 農道舗装（その6）工事	L = 223.5m	3,483,900	25. 12. 20	26. 2. 17
小俣町明野 地内ほか	（注） 農道舗装（その7）工事	L = 206.0m	2,434,950	26. 1. 10	26. 2. 12
村松町内 地	（注） 農道舗装（その8）工事	L = 255.0m	2,191,350	26. 1. 31	26. 3. 20
計	8件	—	17,539,200	—	—

(注) 平成 24 年度から繰越

ウ 用地買収関係

場所	地権者数	筆数	面積	金額
朝熊町内 地	人 15	筆 15	m ² 84.34	円 7,677,138

2 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した路線を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。また、次年度に施工を予定している箇所において、測量・設計を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
鹿海町内 地	農業用排水路工事に伴う 測量業務委託	測量業務 一式	円 1,013,250	25.11.8	26.2.28
二見町西内 地	農業用排水路(その2) 工事に伴う測量業務委託	測量業務 一式	1,488,900	25.11.29	26.3.24
鹿海町内 地	農業用排水路工事に伴う 設計業務委託	設計業務 一式	945,000	25.12.20	26.3.25
二見町西内 地	(注) 農業用排水路(その2) 工事に伴う設計業務委託	設計業務 一式	945,000	26.1.22	26.3.25
計	4件	—	4,392,150	—	—

(注) 平成 24 年度から繰越

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東大淀町内 地	(注) 農業用排水路(その1)工事	L=133.1m	円 1,964,550	25.10.25	25.12.13
小俣町新村 地	(注) 農業用排水路(その2)工事	L=95.0m	5,724,600	25.12.6	26.3.14
鹿海町内 地	(注) 農業用排水路(その4)工事	L=192.0m	2,325,750	25.12.20	26.2.7
上地町内 地	(注) 農業用排水路(その5)工事	L=87.9m	3,077,550	26.2.7	26.3.24
計	4件	—	13,092,450	—	—

(注) 平成 24 年度から繰越

3 給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町 地内	給水栓設置工事	給水栓設置 69か所	円 5,280,450	25. 9.20	26. 1.10

4 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 国営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
国営宮川用水第二期土地改良事業（平成5～23年度実施分）	粟生頭首工取水量の増量 斎宮調整池の新設 導水路改修 L=15.4km 新導水路暗渠化 L=3.4km	円 47,583,798,899	円 2,293,539,106
国営宮川用水第二期土地改良事業（平成24年度実施分）	幹線水路（一部支線）パイプ ライン化 L=23.8km 排水操作等の遠隔化	622,546,684	30,758,975
計		48,206,345,583	2,324,298,081

(2) 県営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
平成24年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	仮設工、堤体復旧工、 本体工、機械工 一式	円 205,000,000	(注1) 円 41,000,000
平成24年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	用水路工 L=255.6m	255,000,000	(注1) 38,250,000
平成24年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区その2	水管理システム 一式	50,000,000	(注1) 7,495,350
平成24年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	幹線用水路 L=264m 支線用水路 L=8,891m	395,100,000	(注1) 13,161,317
平成24年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水施設工 一式 支線用水路 L=1,549m	95,000,000	(注1) 1,020,900
平成24年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	舗装工、補償 一式	36,317,000	(注1) 12,710,000
平成25年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	仮設工、堤体復旧工、 本体工 一式	69,000,000	10,350,000
平成25年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	水管橋設置工 一式 推進工 一式	499,000,000	(注2) 74,850,000

平成 25 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区その 2	水管理システム 一式	円 15,000,000	円 2,248,605
平成 25 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L=97m 支線用水路 L=9,777m 水管理システム 一式	390,000,000	(注 2) 8,921,728
平成 25 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	支線用水路 L=10,800m	370,000,000	(注 2) 12,855,440
計	11 件	2,379,417,000	222,863,340

(注 1) 平成 24 年度から一部繰越

(注 2) 平成 26 年度へ一部繰越

(3) 補助金

補助金支出先	施行 年度	事 業 名	事 業 概 要	市補助額
宮 川 用 水 土 地 改 良 区	平成 25	土地改良施設維持管理適正化 事業(34・37 期生)	揚水機場整備補 修工事	円 2,600,000
”	平成 25	土地改良施設維持管理適正化 事業(35 期生)	揚水機場操作盤 整備補修工事	381,000
”	平成 25	地域農業水利施設ストックマ ネジメント事業(明野地区用 水路更新工事)	用水路更新工事	1,750,000
”	平成 25	農業基盤整備促進事業(御菌 地区団体営一之木線更新工 事)	用水路更新工事	2,250,000
”	平成 25	県単土地基盤整備促進事業 (小規模土地改良事業)明野 第 2 地区用水路補修工事	用水路更新工事	700,000
伊 勢 北 部 土 地 改 良 区	平成 6~15	県営ほ場整備事業(伊勢北部 地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782
豊 浜 土 地 改 良 区	平成 5~11	団体営土地改良総合整備事業 (豊浜・森・小川地区)	用水施設整備他	(注) 24,637,159
”	平成 13~15	基盤整備促進事業(大方後地 区)	用水路工事他	(注) 886,730
五十鈴川用 土 地 改 良 区	平成 25	県営かんがい排水事業(鹿海、 一色地区)	木出頭首工維持 管理事業	484,171
宮川左岸第 二 土 地 改 良 区	平成 25	土地改良施設維持管理適正化 事業	用水管修繕工事	80,000

村 松 土 地 改 良 区	平成 25	農業用排水路整備工事	排水路工事	円 2,042,000
小 侯 町 土 地 改 良 区	平成 25	高度水利機能確保基盤整備事業	管水路工事	142,700
”	平成 25	小侯町高畑地内漏水補修工事	水路補修工事	5,600
上野町農家組 合	平成 25	上野町和田沖 農水配管修繕	農業用ポンプ配 管修繕	6,993
五十鈴川用水 土 地 改 良 区	平成 25	鹿海町渇水対策	渇水対策(水中ポ ンプ、発電機設 置)	62,370
旭町新池仲間	平成 25	ため池整備工事	ため池法面整備 工事	323,000
計	16件	—	—	49,172,505

(注) 市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額

5 農村振興整備事業

近年の農業のおかれている状況は、農家数及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備を進めることで、優良農地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

(1) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
一之木4丁目 地 内 ほ か	(注) 環保3-1号工事	L = 130.0m	円 54,387,900	25. 7. 5	26. 2. 28
西 豊 浜 町 地 内	(注) 農排3-13号工事	L = 61.0m	25,674,600	25. 4. 26	25. 10. 2
一 色 町 地 内	(注) 集道3-5号工事	L = 230.4m	24,725,400	25. 9. 20	26. 1. 24
小侯町湯田 地 内	(注) 農排3-11号工事	L = 579.9m	6,069,000	25. 9. 20	25. 12. 18
通 町 地 内	(注) 集道3-4号工事	L = 152.0m	33,019,350	25. 9. 20	26. 3. 7

柏地	町内	(注) 農排 3-6 号工事	L = 240.0m	円 7,241,850	25.10.25	26.1.22
西地	豊浜町内	(注) 農排 3-13 号(その 2)工事	L = 26.3m	15,352,050	25.12.6	26.3.14
一地	色町内	(注) 集道 3-5 号工事に伴う舗装工事	L = 663.5m	14,465,850	26.1.10	26.3.14
計		8 件	—	180,936,000	—	—

(注) 平成 24 年度から繰越

イ 用地買収関係

場所	地権者数	筆数	面積	金額
一地	人 4	筆 2	m ² 24.75	円 111,375

(注) 平成 24 年度から繰越

6 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業

市内にあるため池について、堤体の諸元や老朽度等の基礎情報を点検し、ハザードマップの作成及び耐震点検のための地質調査を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	(注) ため池一斉点検業務委託	設計業務 一式	円 2,021,250	25.9.27	26.1.31
〃	(注) ため池ハザードマップ作成業務委託	解析業務 一式	2,268,000	25.12.20	26.3.14
黒地瀬町内	(注) ため池耐震点検地質調査業務委託(その 1)	地質調査 一式	3,358,950	25.12.27	26.3.25
前地山町内	(注) ため池耐震点検地質調査業務委託(その 2)	地質調査 一式	1,854,300	25.12.27	26.3.25
津地村町内	(注) ため池耐震点検地質調査業務委託(その 3)	地質調査 一式	2,243,850	25.12.27	26.3.25
計	5 件	—	11,746,350	—	—

(注) 平成 24 年度から繰越

7 技術援助事業

土地改良区が実施する修繕工事等について、設計・監督等の技術援助を行い、土地改良区の負担軽減を図った。

事業主体	工事名
村松土地改良区	農業用排水路整備工事

○ 林業関係

1 林道修繕事業

雨水等により道路法面が崩れ、通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
横輪町内 地	横輪町林道看板設置工事	看板設置 一式	円 99,750	26. 3. 3	26. 3. 31
矢持町内 地	冷水林道土砂撤去工事	土砂撤去 一式	294,000	26. 3. 12	26. 3. 27
計	2件	—	393,750	—	—

2 環境保全林管理事業

(1)市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈、修繕工事等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦口町内 地	三郷山清掃業務委託	清掃 年16回	円 300,000	25. 4. 1	26. 3. 15
二見町茶屋 地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	449,500	25. 4. 1	26. 3. 31
横輪町内 地	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	25. 4. 15	26. 3. 27
〃	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 9,900 m ²	900,000	25. 4. 15	25. 12. 17
浦口町内 地	三郷山草刈等(その1) 業務委託	草刈りほか 24,700 m ²	790,000	25. 5. 24	25. 7. 31
〃	三郷山給水施設衛生管理 業務委託	給水施設 清掃・点検一式	29,820	25. 7. 1	25. 7. 24
〃	三郷山草刈等(その2) 業務委託	草刈り 24,700 m ²	493,500	25. 10. 4	25. 11. 15

辻久留町 地内	三郷山間伐業務委託	間伐業務 A=0.4ha	円 441,000	26. 1.23	26. 3.14
横輪町 地内	横輪環境保全林間伐業務委託	間伐業務 A=0.9ha	472,500	26. 1.23	26. 3.14
二見町茶屋 地内	危険木処分（その2）業務委託	危険木処分	99,750	26. 2.18	26. 2.18
計	10件	—	4,276,070	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内ほか	音無山消火器取替工事	消火器取替 N=3本	円 65,205	25.10.15	25.11. 8
朝熊町 地内	絆の森舗装修繕工事	舗装修繕 一式	99,750	25.12. 9	25.12.13
計	2件	—	164,955	—	—

（2）横輪環境保全林の境界及び面積を明確にすることにより、市の財産を把握し更なる維持管理の向上を図るため、年次計画に基づき用地測量を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横輪町 地内	横輪環境保全林用地測量 業務委託	用地測量 A=9.6ha	円 9,891,000	25.11.29	26. 2.28

3 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.24ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 歩道草刈り A=4.24ha	円 976,500	25. 8.19	25.10.23

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西 地内ほか	松くい虫防除（地上散布） 業務委託	薬剤散布 A=6.3ha	円 522,900	25. 5.29	25. 7. 5

二見町茶屋地内	二見保安林支障木伐採業務委託	支障木伐採	円 21,000	25. 6. 25	25. 6. 25
村松町地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り A=15,000 m ²	250,000	25. 7. 8	25. 8. 30
二見町西地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り A=3.2ha	1,218,000	25. 7. 17	25. 9. 5
〃	松くい虫防除（伐倒破碎）業務委託	枯松伐倒駆除	954,450	25. 12. 18	26. 3. 31
二見町茶屋地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入）業務委託	薬剤樹幹注入	2,202,900	25. 12. 18	26. 1. 31
二見町荘地内	危険木処分業務委託	危険木処分	99,750	26. 2. 17	26. 2. 17
計	7件	—	5,269,000	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町今一色地内	二見松林整備工事	松林整備 A=400 m ²	円 735,000	25. 10. 21	25. 11. 5

5 獣害防止事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

件数	延べ人員	総捕獲数(頭・羽)
30件	247人	イノシシ：232、シカ：173、サル：25、イタチ(オス)：15、タヌキ：2、アライグマ：1

(2) 獣害防止事業委託

(1)のうち、狩猟期間外の捕獲を伊勢地区猟友会に委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。【猪(子)：3,000円/1頭 猪・鹿：5,000円/1頭 猿：10,000円/1頭】

平成25年度捕獲実績(頭)			
イノシシ(子)：47	イノシシ：127	シカ：152	サル：19

事業費 1,726,000円 (市単独事業)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成20年11月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって協議会一般事業、鳥獣害防止総合対策事業及び「獣害対策に取り組む集落」育成支援事業に取り組んだ。

事業内容	金額(円)	概要
防護柵整備	21,135,136	大倉町ほか6地区 13.68km等
捕獲檻導入	430,065	猪・鹿用 5台、小動物用2台
備品購入費	106,165	センサーカメラ式、デジタルカメラ等
追払い用機材購入	963,950	駆逐用煙火1,300本、音追いピストル30丁等
その他消耗品	76,878	アニマルセンサー消耗品、受信機消耗品
計	22,712,194	

事業費 22,712,194円 (国:18,652,194円 市:1,100,000円 地元負担 2,960,000円)

(4)委託関係

集落への野生鳥獣の出現の減少を図るため、公益的機能が適正に発揮され、下草等の植生が豊かで野生鳥獣の生息しやすい森林づくりのため更新伐を行い、その後の植生の状況及び獣害被害状況の調査を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横輪町 地内	(注1) 横輪町更新伐業務委託	更新伐 A=15.0ha	円 4,102,350	25. 2.20	25. 5.31
〃	(注2) 横輪環境保全林植生状況調査業務委託	状況調査 N=4か所	58,800	25. 9.30	25.10.18
計	2件	—	4,161,150	—	—

(注1)平成24年度から一部繰越

(注2)平成24年度から繰越

6 鳥獣保護等事業

(1)鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロの飼養許可事務を実施した。

交付件数 2件(メジロ:更新 2件)

手数料収入 6,800円(手数料 1件 3,400円)

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類（アサリ等）が 656 t、魚類等が 173 t、くろのりは 2,248 万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名		平成 25 年度			平成 24 年度		
			正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	6	98	104	2	116	118
		村松	25	84	109	30	86	116
		有滝	17	97	114	21	105	126
		東豊浜	13	208	221	18	218	236
		大湊	8	16	24	9	18	27
		一色	4	48	52	4	50	54
		神社	0	15	15	0	15	15
		今一色	58	19	77	57	21	78
		江	2	22	24	1	43	44
		松下	6	55	61	9	54	63
			合計	139	662	801	151	726
内水面	宮川漁協	845	999	1,844	891	1,098	1,989	
	内伊勢市管内	231	177	408	254	198	452	

(注) 宮川漁協は各年度 12 月 31 日現在

(各年度 4 月 1 日現在)

(2) 漁業生産状況

(単位：kg(くろのりは千枚))

種類	平成 25 年度	平成 24 年度
魚類	136,098	114,667
水産動物類	37,064	42,198
アサリ	573,085	607,035
その他の貝類	57,795	59,011
くろのり	22,476	39,610
あおのり	3,215	1,451

(3) 漁船数

(単位：隻)

地区名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	47	0	0	0	47
村 松	40	4	4	0	48
有 滝	43	1	11	0	55
東豊浜	57	7	5	0	69
大 湊	14	0	0	0	14
一 色	10	1	0	0	11
神 社	1	0	0	0	1
今一色	170	5	0	1	176
江	27	0	0	0	27
松 下	26	0	0	0	26
合 計	435	18	20	1	474

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区 分	男	女	計
20 歳未満	0	0	0
20～30 未満	1	0	1
30～40 未満	3	0	3
40～50 未満	11	5	16
50～60 未満	27	21	48
60～70 未満	55	41	96
70 歳以上	105	61	166
計	202	128	330
平均年齢 (歳)	66.7	67.4	67.0

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

2 水産振興事業

(1) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立早修小学校 5 年生 (14 名)、市立今一色小学校 4～5 年生 (27 名)、市立佐八小学校 5 年生 (20 人) に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への意識の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
常 磐 3 丁 目 佐 八 町 二見町今一色 地 内	○講習：「伊勢市の漁業の概要」「のり養殖業」 ○体験実習：「のりすき体験」 ○施設見学：「のり加工施設」「のり検査倉庫」	円 110,254	26. 1. 29 26. 2. 6 26. 2. 20

(2)魚礁効果調査事業

昭和 54 年から平成 10 年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁と、平成 14 年から平成 22 年までの間に覆砂したアサリ漁場について、潜水等調査により、魚礁の設置状況や魚類等のい集状況、覆砂漁場の現況を把握し、適切な施設の維持管理及び設置等効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。

実施場所	内 容	調査か所数	事業費	実施期間
今 一 色 町 地 先 ほ か	魚礁の設置状況（位置・水深・現況など）、魚礁への魚類・水産動物類等のい集状況、魚礁表面への海藻類等の付着状況 など	8 か所	円 1,047,900	25. 11～26. 1

(3)干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

なお、活動事業費は、水産庁の「水産多面的機能発揮対策事業」による地域協議会を通じて、取組みを支援した。

実施主体	実施場所	内 容	実施期間
伊勢干潟保 全会	二 見 町 今 一 色 地 先 干 潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 (耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、 浮遊・堆積物の除去)	25. 6～26. 3
村松浅場保 全会	村 松 町 地 先 干 潟	計画づくり、モニタリング、保全活動 (稚貝等の沈着促進、機能発揮のための生物移植)	25. 6～26. 3

(4)各種補助金事業

事 業 名	事業主体	事 業 量	事 業 費	市補助金	成 果
アサリ養殖 振興事業	伊 勢 湾 漁 業 協 同 組 合	二見町今一色地先ほかにアサリ種苗、ハマグリ種苗を放流 放流量 アサリ 31 t はまぐり 0.1 t	円 8,284,218	円 2,485,000	アサリ、ハマグリ資源の増大と漁家経営の安定、アサリの浄化作用による環境保全を図った。

種苗（クルマエビ等）育成事業	伊勢湾漁業協同組合	クルマエビ 100万尾 クロダイ 6千尾 ナマコ 1万尾 各種苗を松阪市黒部町地先～伊勢市二見町松下地先に放流	円 1,700,000	円 192,000	クルマエビ・クロダイ・ナマコの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定を図った。
稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	アユ 3,000 kg ウナギ 70 kg アマゴ 100 kg 各種苗を宮川流域に放流	9,859,500	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源の増大と生産の向上を図った。
漁業近代化資金利子補給	三重県信用漁業協同組合連合会	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給 借入件数 9件	21,242,739	159,320	復旧に必要な資金の借りの円滑化と漁業経営の再生を図った。
計	4件	—	41,086,457	3,436,320	—

(5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、クロダイ、ナマコの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成17年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヒラメの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和60年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成21年2月に発足した「アサリ勉強会」や漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成22年3月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		24年度末現在	25年度末現在	24年度末現在	25年度末現在
村松	第1種	1,403 ^m	1,403 ^m	486 ^m	487 ^m
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松下	第1種	503	503	101	101
豊北	第2種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,338	9,338	2,673	2,674

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や標識灯の点検業務委託を行い、施設の機能維持を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有滝町 地内	豊北漁港社護神排水路 清掃検業務委託	排水路清掃 一式	円 99,750	25. 4. 16	25. 4. 26
東豊浜町 地先	豊北漁港標識灯保守点検 業務委託	標識灯点検 N=3基	68,250	25. 9. 2	25. 10. 31
東豊浜町 地内ほか	豊北漁港草刈等業務委託	草刈・集草・運搬 一式	480,000	25. 11. 15	26. 1. 31
計	3件	—	648,000	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町 地内	村松漁港西防波堤修繕 工事	防波堤修繕 一式	円 472,500	25. 4. 30	25. 5. 29
東豊浜町 地内	豊北漁港土路第3護岸 修繕工事	護岸修繕 一式	441,000	25. 5. 15	25. 5. 31
〃	豊北漁港西条護岸(A) 修繕工事	護岸修繕 一式	441,000	25. 6. 7	25. 7. 5
〃	豊北漁港西条第1堤防 修繕工事	堤防修繕 一式	472,500	25. 10. 28	25. 12. 26
有滝町 地内	豊北漁港有滝照明灯修 繕工事	照明灯修繕 N=3基	97,650	25. 12. 2	25. 12. 13
東豊浜町 地内	豊北漁港土路物揚場整 備工事	物揚場整備 一式	997,500	25. 12. 2	26. 1. 14
〃	豊北漁港管理用地整備 工事	用地整備 一式	1,281,000	25. 12. 9	26. 1. 14
〃	豊北漁港管理用地整地 工事	用地整地 一式	1,260,000	26. 1. 9	26. 2. 19
二見町 江内	江漁港照明灯修繕工事	照明灯修繕 N=1基	44,100	26. 2. 28	26. 3. 7
計	9件	—	5,507,250	—	—

ウ 補助金関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
今一色漁港区荷捌所改修事業	伊勢湾漁業協同組合	荷捌所扉及び防鳥網の改修 一式	円 2,299,500	円 459,000	腐食等により老朽化した扉及び防鳥網を改修したことで、施設の機能回復・安全確保と利便性の向上を図った。

3 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、効果的・効率的な施設の改良・更新による施設の長寿命化を図るため、施設の老朽化機能診断に基づいて、物揚場の業務委託及び保全工事を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町内	(注) 豊北漁港土路物揚場測量業務委託	測量業務 一式	円 945,000	25. 4. 12	25. 6. 10
〃	(注) 豊北漁港土路物揚場設計業務委託	設計業務 一式	3,392,550	25. 6. 7	25. 9. 4
計	2件	—	4,337,550	—	—

(注) 平成 24 年度から繰越

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町内	(注1) 豊北漁港土路物揚場保全工事	物揚場護岸保全工 (コンクリート被覆工) L=100.0m	円 28,260,750	25. 11. 8	26. 3. 24
〃	(注2) 豊北漁港土路物揚場保全 (その2) 工事	物揚場護岸保全工 (コンクリート被覆工) L=43.9. m	10,260,000	26. 3. 31	26. 5. 30
計	2件	—	38,520,750	—	—

(注1) 平成 24 年度から繰越

(注2) 平成 26 年度へ繰越

4 漁業用施設整備事業 (防衛)

漁港内の航路において、漁船の安全航行・航行時間の短縮を図るため、測量・設計業務を行った。経年劣化が著しい船揚施設の機能回復・漁船修理の効率化を図るため実施された設計業務に対し、補助金を交付した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
有 滝 町 地 内 ほか	豊北漁港航路浚渫測量業務委託	測量業務 一式	円 1,365,000	25. 9. 6	25.12. 4
〃	豊北漁港航路浚渫設計業務委託	設計業務 一式	1,795,500	25. 9.20	26. 2.14
計	2 件	—	3,160,500	—	—

イ 補助金関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
漁業用施設 整備事業	伊勢湾漁業 協 同 組 合	船揚場設計業務 一式	円 2,900,000	円 2,803,000	経年劣化が著しい 船揚施設を改修す るための設計業務 を行った。

○ 漁港建設関係

1 津波・高潮危機管理対策緊急事業

漁港区域内における護岸の老朽化が著しいことから、早期に改修を行い、背後地の住民の生命・財産を守るため、護岸工事を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東 豊 浜 町 地 内	豊北漁港護岸改良工事	護岸改良工 (表法コンクリート被覆工) L = 63.6m	円 26,479,950	25. 9.27	26. 3.14

○ 緊急雇用対策関係

1 獣害対策強化事業

平成 25 年 7 月 10 日から 12 月 31 日までの期間、臨時職員を雇用し、獣害被害を受けている地域を重点的にパトロールし、野生動物出没時の追払いや、発信機付き猿群れの動向を調査して情報提供を行うなど、被害軽減に努めた。

事業費 1,035,191 円

2 生活環境被害対策サポート事業

平成 25 年 4 月 1 日から 12 月 31 日までの期間、臨時職員を雇用し、野生獣による生活環境被害を受けている地域を重点的にパトロールするとともに、被害をもたらすサル群れの位置情報の発信や、イノシシにより発掘された法面の補修等諸業務を行った。

事業費 2,939,216 円

○ 災害復旧関係

1 漁港等災害復旧事業

(1)平成 25 年 9 月 15 日～16 日に発生した台風 18 号により、豊北漁港の港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 重機借上関係

	施行場所	金額
重機借上	豊北漁港 東豊浜町地内	円 316,050

(2)平成 25 年 10 月 15 日～16 日に発生した台風 26 号により、豊北漁港の港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 重機借上関係

	施行場所	金額
重機借上	豊北漁港 有滝町地内ほか	円 1,040,970

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所属	施行場所	工事名	工事概要	金額
観光事業課	中島 2 丁目 地内ほか	第 61 回全国花火大会施設工事	放揚施設工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 27,697,950
〃	〃	第 61 回全国花火大会電気設備工事	電話・電灯設備 一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	2,769,900
消防課	小俣町明野 地内ほか	消防水利標識設置工事	標識工 16 か所	924,000
〃	上地町 地内ほか	消防水利溶着塗装工事	溶着塗装工 270 か所	2,352,000
二見地域振興課	二見町茶屋 地内	賓日館松くい虫防除 (樹幹注入) 業務委託	樹幹注入 38 本	441,000
計	5 件	—	—	34,184,850

観 光 企 画 課

平成 25 年は、1,420 万人という大変多くの参拝者が神宮を訪れました。その背景には、第 62 回神宮式年遷宮の影響はさることながら、遷宮関連の話題が各種メディアで継続して取り上げられた点、とりわけ神宮や伊勢の歴史文化に視点を置いた内容が多く、本来的な価値が広く伝わり共感を呼んだ点があると考えられます。

当市や各種関係団体は、神宮司庁と連携を取りながら、受入れ面では独自の歴史文化を生かしたもてなし事業を、誘客宣伝面では正確な情報に基づいた魅力発信事業を、複数年度にわたり戦略的に展開してきました。また御遷宮対策事務局や第 62 回伊勢神宮式年遷宮広報本部等が神宮を核とした情報発信を行った効果は大きく、その結果上記のようなメディアの流れができ、賑わいにつながったと考えられます。

7 月 26 日～9 月 1 日に行われたお白石持行事では、延べ 23 万人もの人々が新宮へお白石を奉獻しました。観光関連施設面では、4 月に市営宇治浦田観光案内所が運営を開始、6 月に伊勢市駅前広場に鳥居が竣工、7 月に近鉄伊勢市駅の改築・JR 伊勢市駅前広場の整備が完了、市営手荷物預かり所が運営を開始、8 月には伊勢市駅前に宿泊施設が開業、9 月には内宮近くの伊勢道路沿いに同じく宿泊施設が開業しました。また外宮参道にはたくさんの飲食店等がオープンし、町並みが大きな変貌を遂げました。

今後は、内宮周辺地域とともに外宮周辺地域を安定した魅力ある観光地にし、同時に二見・河崎といった他地域への周遊を促進することが課題となっています。

○ もてなし心醸成事業

1 バリアフリー観光向上事業

日本全体が高齢化し人口が減少し続ける中、高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただき国内からの宿泊旅行者数を増加させることを目的に、平成 23 年度から受け入れ力強化のための取り組みを行っています。

平成 25 年度は、伊勢市内のバリアフリー観光について、旅行者側と受け入れ側の双方が求めるものを明らかにし、今後の施策の裏付けとして活用することを目的に、調査を実施しました。

委託先：株式会社 地域計画建築研究所 大阪事務所

委託金額：4,861,500 円

委託期間：平成 25 年 6 月 17 日～平成 25 年 12 月 27 日

(1) 伊勢市バリアフリー観光旅行調査

郵送・聞き取り・インターネット等の方法で高齢者・障がい者・介護者にアンケートを取り、

伊勢市内のバリアフリー観光旅行に対する旅行者側のニーズ等を調査しました。

① インターネット調査

身体に不安を抱える高齢者（65歳以上） 511件

介助者（介助対象は高齢者・障がい者） 518件

② 郵送アンケート調査

障がい者 112件

介助者（介助対象は障がい者） 93件

計 1,234件

(2) おはらい町受入れ実態調査

内宮前で常時多くの観光客を受け入れているおはらい町において、店舗へ聞き取り調査を行い、接遇対応の工夫や地域としての課題を把握しました。

調査軒数 32軒

2 災害に強い観光地づくり事業

災害に対する備えは住民のためだけでなく、観光客のためにも重要です。特に当市では、日によって観光客の数が住民の数をはるかに超える時があるため、発災時の避難対策は重要性が高くなります。

特に、近い将来の発生が懸念される南海トラフを震源域とする巨大地震が発生した際、津波の襲来が予想される二見地域においては、対策を急ぐ必要があります。

これらのことから、観光事業者などと協力して勉強会を重ね、避難マニュアルの検討を行いました。

勉強会：二見地域 11回開催

○ 観光振興基本計画策定事業

1 観光振興基本計画策定事業

平成19年度に策定した観光振興基本計画が平成25年度末に目標年次を迎えるため、第62回神宮式年遷宮以降の観光振興の新しい指針とするべく、新しい計画を策定しました。

種々の調査を行った上で、有識者や地元観光関連団体の代表者からなる観光振興基本計画策定推進会議を立ち上げ、検討を行い策定しました。

委託先：株式会社リクルートホールディングス

委託金額：8,452,500円

委託期間：平成24年12月4日～平成26年3月25日

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 広告宣伝による誘客活動

新聞や雑誌等の広告媒体を活用し情報発信を行いました。実施に当たっては、三重県や周辺組織・団体の取り組みと地域が重複しないよう、棲み分けに努めました。

また平成 25 年度は広告掲載業務の一部を委託し、内容の充実と事務の効率化を図りました。

委託先：株式会社アド近鉄伊勢支店

委託金額：4,935,000 円

委託期間：平成 25 年 10 月 25 日～平成 26 年 3 月 14 日

<掲載実績>

	媒体名	掲載日	備考
1	Hanako (ハコ)	12. 19	全国
2	旅の手帖	2. 10	全国
3	春びあ	2. 20	関東・関西・東海
4	poroco (ポロコ)	1. 20	北海道
5	nonrouge (ノン・ルージュ)	1. 25	北海道
6	ぐらんざ	1. 31	九州
7	ELF (エルフ)	2. 1	九州
8	WINK (ウインク)	1. 23	広島
9	WINK (ウインク)	1. 25	福山・備後
10	長野こまち	1. 25	長野

<参考>過去の掲載実績

平成 20 年度決算額・・・2,198 千円 (掲載件数 34 件)

平成 21 年度決算額・・・4,418 千円 (掲載件数 55 件)

平成 22 年度決算額・・・4,419 千円 (掲載件数 54 件)

平成 23 年度決算額・・・5,020 千円 (掲載件数 57 件)

平成 24 年度決算額・・・6,573 千円 (掲載件数 75 件)

平成 25 年度決算額・・・771 千円 (掲載件数 18 件)

平成 25 年度実績 (直接掲載分)

	媒体名	掲載日	備考
1	ハイウェイマップ	7. 1	東海近畿
2	聖教新聞	7. 7	東海
3	旬刊旅行新聞	7. 11	全国
4	奈良新聞	7. 20	奈良
5	月刊誌「都市問題」	9. 1	全国
6	伊勢新聞	9. 14	三重
7	伊勢新聞	10. 2	三重
8	旬刊旅行新聞	9. 21	全国
9	月刊「江戸楽」	9. 20	東京
10	信濃毎日新聞	10. 7	長野
11	「伊勢人」別冊	11. 30	三重
12	信濃毎日新聞	11. 5	長野
13	信濃毎日新聞	1. 1	長野

14	信濃毎日新聞	1. 3	長野
15	リビングおかやま	2. 8	岡山
16	中日新聞	2. 26	中部
17	はりま「遊び本」	3. 20	兵庫
18	Poroco (ポロコ)	3. 25	北海道

(2) 公共交通機関利用促進の周知

「お白石持行事」（7月～9月）実施中の交通規制図を作成し、情報発信を行いました。

また、予測される交通渋滞を少しでも緩和するため、これまで以上に公共交通機関利用促進の周知に力を入れました。

① 雑誌等での周知

車ででの来訪が多い名古屋地区に対し、名古屋市内で発行している生活情報誌に広告を掲載し、公共交通での伊勢への来訪を呼びかけました。また他の誘客宣伝広告においても、公共交通利用促進の周知を行いました。

	媒体名	掲載日	備考
1	名古屋フリモ6月号	6. 28	名古屋市
2	Simple8月号	7. 10	三重
3	名古屋フリモ8月号	8. 23	名古屋市
4	Simple1月号	12. 10	三重

② ポスターの作成と掲出による周知

公共交通利用を呼びかけるポスターを作成し、近畿日本鉄道(株)・東海旅客鉄道(株)・名古屋鉄道(株)の協力により、鉄道駅の構内に掲出しました。

委託先：株式会社アド近鉄伊勢支店

委託金額：6,939,800円（計3回の合計金額）

委託期間：1回目 平成25年6月17日～平成25年7月31日

2回目 平成25年9月9日～平成25年9月30日

3回目 平成26年2月28日～平成26年3月28日

③ ケーブルテレビでの周知

名古屋地区のケーブルテレビで、観光情報とともに公共交通での来訪を呼びかけました。

委託先：スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

委託金額：498,750円

委託期間：平成25年6月26日～平成25年8月30日

(3) バス車体広告

遷宮後もリピーターの確保が期待できる近隣府県に向け、路線バス等へ広告を掲載しました。

広告掲載状況

都道府県	バス会社	主な運行エリア
京都府	京都市交通局	京都市内
滋賀県	近江鉄道バス	大津市内ほか

岡山県	岡山電気軌道	岡山市内
長野県	長野電鉄バス	長野市内
兵庫県	神姫バス	神戸市内
岐阜県	岐阜バス	岐阜市内
静岡県	静鉄バス	静岡市内、清水市内
	遠鉄バス	浜松市内

※愛知県および大阪府は別途 PR を行っているため本事業の対象外です。

委託先：三重交通株式会社

委託金額：4,000,000 円

委託期間：平成 25 年 6 月 27 日～平成 26 年 3 月 31 日

(4) デジタルメディアの活用

東京都内のタクシーに液晶ディスプレイを設置し、伊勢の観光情報を放映することにより、誘客を図りました。また市内を走るタクシーやバスの車内、また市内の観光施設などにも同様のディスプレイを設置し、イベント情報や観光情報などを放映し、観光客の利便性向上を図りました。

委託先：株式会社タクシーちゃんねる

委託金額：6,300,000 円

委託期間：平成 25 年 6 月 17 日～平成 26 年 3 月 31 日

(5) 放送メディアの活用

遷宮後の誘客につなげるため、全国ネットのテレビ放送による PR を行いました。

委託先：株式会社日本テレビサービス

委託金額：9,970,800 円

委託期間：平成 26 年 1 月 31 日～平成 26 年 2 月 25 日

(6) 旅行会社へのセールス活動

第 62 回神宮式年遷宮を伊勢への送客のきっかけにさせていただこうと、引き続き旅行会社へ営業活動を実施しました。伊勢についての正しい情報、地元のイベントや物産等の情報を提供し、旅行会社に「伊勢は旅行商品を造成しやすい地域」と認識されるよう、売り込みを行いました。売り込みに際しては、遷宮後も継続して造成していただけるよう、(株)観光販売システムズに一部業務を委託し各種対応を行いました。

平成 26 年 2 月に北海道の主要旅行会社への営業を行い、すでに旅行商品を展開している旅行会社に対しては、平成 26 年度以降の継続を依頼し、まだ展開していない旅行会社へは、新たな商品提案を行いました。

(7) ホームページを活用した情報発信

インターネットを活用して、(公社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行いました。

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼働日数	一日平均
13	999	7	142.7
14	77,936	365	213.5
15	106,076	365	290.6
16	132,977	365	364.3
17	214,240	359	596.8
18	350,359	365	959.9
19	436,068	366	1,191.4
20	444,759	365	1,218.5
21	494,421	335	1,475.9
22	723,104	365	1,981.1
23	837,292	366	2,287.7
24	1,214,201	365	3,326.6
25	2,271,186	365	6,222.4
合計	7,303,618	4,353	1,677.8

※平成14年3月開設(平成21年10月1日全面リニューアル)

※システム移行により平成21年9月のアクセス数は算出不能

このため、平成21年度の数値は11箇月分の合計値となっています。

(8) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

楽しめる場所の情報を多く提供することで滞在時間の延長をはかり、観光消費額を増やすことを目的とした総合観光パンフレット(ええじゃないかお伊勢さん)、観光展やPRイベントで伊勢の概要を紹介するための観光パンフレット(ええじゃないかお伊勢さん概要版)、町歩き等をお楽しみいただくマップ(伊勢市内マップ、ポケナビ、二見浦、グルメマップ、伊勢うどんマップ等)、外国語版パンフレットなど、目的別に(公社)伊勢市観光協会と共同で、作成・増刷しました。完成した観光パンフレット等については、観光展等のイベントや観光案内所で配布したほか、各種集客大会による来訪者への配布、広告事業と連動したパンフレット送付依頼による配布等を行いました。

また観光PRポスターを作成し、PRイベントでの展示をはじめ、各地での掲示を行いました。

年度	パンフレット郵送件数
18	522
19	527
20	1,081
21	1,426
22	1,261
23	966
24	1,988
25	1,171

(9) 外宮周辺魅力創出・発信事業

内宮周辺に集中している観光客を、外宮周辺への集客事業を行うことによって分散し、さらには市内周遊につなげることを目的に、伊勢商工会議所と協働で各種事業を行いました。

① 外宮誘客事業

内宮・外宮間に、外宮誘導の屋根看板・車内広告をつけた路面バス 10 台の運行、高速サービスエリア・パーキングエリア・料金所・近鉄各駅・宿泊施設等への外宮誘導チラシ配布、携帯サイトの活用

② 外宮周辺資源活用事業

外宮周辺の魅力を紹介したまち歩きパンフレットの観光案内所・市内主要施設、県内外イベント等での配布

③ 朝市・参宮木札事業の広報並びに組織育成支援事業

集合チラシへの朝市の広告掲載、市民ボランティアとの連携による参宮木札配布、木札配布時のアンケート調査実施、木札施行店舗の会の運営補助

(10) 夜の魅力創出事業

伊勢市観光振興基本計画策定に先立ち実施した観光動態調査の結果によると、日帰り観光客は夕方になると伊勢から出て行く傾向が読み取れます。そこで、滞在時間を延長させ、市内宿泊者および観光消費額を増加させるため、各種事業を実施しました。

また実施については、伊勢商工会議所や伊勢市観光協会等、各種団体と連携して進めました。

① よいまちバル実証実験事業

外宮前バス停広場から半径 450m に立地する、通常夜間営業している洋食店やバー等の飲食店を参加対象店舗とし、スペインの立ち呑み食堂「バル」にヒントを得た立ち呑みイベント「YOIMACHI BAR(よいまちバル)」を実施しました。

第 1 回 6/22(土) 参加 8 店舗 来場者約 1,200 人

(※6/21(金)雨天中止)

第 2 回 9/20(金) 9/21(土) 参加 18 店舗 来場者約 3,500 人

第 3 回 11/29(金)11/30(土) 参加 16 店舗、来場者約 2,000 人

② イベント (BAR PASS) の実施

「YOIMACHI BAR(よいまちバル)」を一過性のイベントに終わらせないため、市街地周遊を目的にスタンプラリーを実施しました。応募者の中から抽選で、参加店舗厳選の商品を当選者に発送しました。

バルパス実施期間 9/20～9/23 及び 11/15～12/15

(11) フェイスブックページ運用事業

平成 24 年 7 月 20 日から伊勢市観光企画課フェイスブックページを運用しています。主に伊勢市の観光情報、イベント情報、遷宮情報、観光企画課の業務などを発信しています。

発信者と受け手の双方向のやりとりが可能な SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)での取り組みであり、ターゲットを 20 代~30 代と設定し、若い人にも分かりやすい発信を心がけています。

(12) 外宮前名物・御饌井(みけどん)事業

参加店 16 店舗と企画部会 7 名からなる組織「外宮前名物・御饌井の会」で、外宮のお膝元で地元食材を使った井を開発・販売し、食への感謝を発信しています。

平成 25 年度は、全体のマスコミ取扱い件数は横ばいなものの、テレビや雑誌で全種類の御饌井を紹介していただくなど、これまでよりも詳細にマスコミで取り上げられ、外宮周辺を盛り上げる食のツールとして注目が集まりました。

また、NHK BSプレミアムの協力により、番組の中で遷宮奉祝御饌井「勾玉井」を開発しました。

年度	マスコミ取扱い件数
20	5
21	66
22	41
23	43
24	45
25	42

2 広域連携事業

伊勢熊野観光連絡協議会・(公社)三重県観光連盟・(一財)伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・(公社)日本観光振興協会・歴史街道推進協議会・NPO法人全国街道交流会議に参画し、事業展開を図っています。

また、平成 25 年度は、三重県が平成 25 年 9 月 28 日に東京日本橋に情報発信拠点「三重テラス」を立ち上げたことを受け、「三重県と全国百貨店の取り組み」や「三重県と全国イオンの取り組み」、「三重県と島根県の取り組み」等に市も参画し、三重県と連携して伊勢の情報発信を行いました。

3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

平成 17 年度から継続している事業で、第 62 回神宮式年遷宮にあわせた誘客の一環として、伊勢の旅行商品の開発、旅行会社向け資料の作成を行い、東海、関西、関東を中心としつつ、北海道、中国・四国、九州など全国の旅行会社への企画提案と流通促進を行いました。

実施に当たっては、専門業者に業務を委託することで、特定の旅行会社への偏りを無くし、新規開拓も含め広い対象地域を設け、伊勢への来訪客増加を目指しました。

特に、「食べ歩きクーポン」「お伊勢さん観光案内人」を活用した商品展開と、CANバス・参宮バス等の公共交通機関を活用した商品導入に力を注ぎました。

さらに、外宮周辺および二見地区での「食べ歩きクーポン」を新たに商品開発し、誘客を図りました。

4 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化、平成24年4月公益社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業を展開しました。

(2) せんぐう旅博事業

平成17年から実施してきた「伊勢志摩キャンペーン」の実施期間や規模を拡大し、「せんぐう旅博」として展開しました。

平成25年7月1日から平成26年3月31日まで、三重県・伊勢志摩地域各団体・近畿日本鉄道(株)などと協働で実施し、ガイドブック・チラシ・ポスター等の作成と近鉄沿線や旅行会社等への配布、大阪・名古屋地域等へのPR、各種媒体を活用した情報発信や、旅行会社とのタイアップによる誘客を展開しました。

(3) 伊勢志摩地域合同キャンペーン事業

第62回神宮式年遷宮のクライマックスを、平成25年10月の外宮・内宮両御正宮の遷御の儀で迎えるに際し、伊勢志摩地域全体で奉祝ムードを創出し地域の認知度を高めるため、「伊勢志摩地域合同キャンペーン協議会」を設立し団結してキャンペーンに取り組みました。

近畿日本鉄道(株)から景品の提供を受け、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町・度会町・玉城町をめぐるスタンプラリーを実施しました。応募総数は3,225通を数えました。

(4) 伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政、民間施設等が共同で学生団体旅行の誘致活動を行いました。

学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においさないさあ」の改訂増刷、体験学習指導者のスキルアップを目的とした研修会の開催、学校訪問及び誘致セミナー、現地視察招へい、関係機関との情報交換などを展開しました。

平成25年度は、7月に首都圏(大田区、世田谷区、渋谷区、町田市、川崎市、藤沢市)の公立中学校、12月に関西圏(神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市)の公立小学校を訪問しセールスを実施しました。

また、2月には神戸市で体験学習発表会を開催しました。

5 外国人観光客誘致推進事業

マーケットの成長力と規模から注目される中国・アジアとともに、ヨーロッパ諸国などからの誘客も視野に入れ、他地域と連携しつつ、市単独でも誘客に取り組みました。

(1) 他地域連携事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会等へ参画しました。

伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会では、観光庁の実施する訪日旅行促進事業「ビジット・ジャパン事業」に参画し、台湾・韓国・香港・欧米圏のFIT（個人手配海外旅行者）を対象とした地域文化ウェブ発信事業等を協働で実施しました。

(2) 市単独事業

① 外国特派員への情報発信

平成25年5月23日に東京都有楽町の日本外国特派員協会にて「伊勢を語る夕べ」講演会及び交流会を実施し、国外への情報発信を促進しました。

平成25年11月16日・17日にはその外国特派員のプレスツアーを実施し、本国への情報発信を必須とした伊勢への招待を行いました。9名の参加者のうち6名が特派員であり、参加者から本国への情報発信を行いました。

② 英語字幕付き映像のインターネット発信

市内在住のカナダ人落語家・桂三輝（かつらさんしゃいん）氏を起用し、広報広聴課と共同でアイティービー行政放送の番組「桂三輝の『伊勢で一席』」を作成し、英語字幕を付けYouTubeで公開しました。

③ 外国人短期留学生招へい及び情報発信事業

平成26年2月24日から3月14日にかけて、皇學館大学と協働で、外国人短期留学生を招聘する事業を行いました。

日本・伊勢の歴史文化に興味を持つ欧米圏の学生に皇學館大学に短期留学してもらい、伊勢の地で、伊勢について学んでいただきました。参加留学生は、滞在中SNSを活用し、母国へ伊勢の情報発信を毎日行い、また、伊勢について学んだことをレポートにまとめました。

○ 御遷宮旅客受入推進事業

1 御遷宮誘客宣伝事業

(1) 誘客宣伝PRキャラバン

第62回神宮式年遷宮にあわせた誘客の一環として、各地への宣伝（PRキャラバン）事業を実施しました。単に情報を発信するだけでなく、アンケート調査を実施することで市場調査も行

い、地域の傾向、認知度等进行分析し、遷宮後の誘客事業の資料を作成しました。

< P R キャラバン実施状況 >

	実施日	開催場所	備考
1	4. 12-14	全国ふるさと観光物産展 (大阪府豊中市)	伊勢市産業振興会(商工労 政課) 共同実施
2	5. 24-26	イオンレイクタウン (埼玉県越谷市)	三重県主催
3	6. 1	桜通りカフェ (名古屋市)	
4	6. 28	京都駅 (京都市)	
5	7. 24	J R 草津駅 (滋賀県草津市)	
6	9. 25	J R 岐阜駅 (岐阜市)	旅行会社窓口営業実施
7	10. 19-20	天満屋岡山本店 (岡山市)	三重県主催
8	10. 26	三重テラス (東京都中央区)	
9	10. 27	日本橋・京橋まつり (東京都中央区)	
10	11. 8-10	旅フェア日本 2013 (東京都豊島区)	
11	11. 22-24	たまプラーザ (横浜市)	伊勢市産業振興会(商工労 政課) 共同実施
12	12. 12	J R 岡山駅 (岡山市)	
13	1. 17	J R 静岡駅 (静岡市)	
14	2. 14	J R 松本駅 (長野県松本市)	
15	2. 22-23	イオン幕張新都心 (千葉市)	三重県主催
16	3. 15-16	旅まつり名古屋 2014 (名古屋市)	
17	3. 21-23	東武池袋駅 (東京都豊島区)	伊勢市産業振興会(商工労 政課) 共同実施

(2) 伊勢旅商品全国展開事業

全国各地(北海道、東北、首都圏、東海、関西、中国・四国、九州の7地域)で、大手旅行会社4社による伊勢の単独旅行商品を展開し、伊勢への旅行機会創出に結びました。

旅行商品については、伊勢市内の周遊性を高めるために、「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業で企画造成されたオプショナルプラン等を活用し、観光客の伊勢市内の周遊促進と市内宿泊施設の利用促進を図りました。

また、遷宮情報を入れた観光案内データや専用ロゴ、「伊勢お餅三昧」クーポン等、記事作成に便利な素材を用意し、各旅行会社のパンフレット掲載につなげました。

(3) タウン誌メディアツアー

遷宮を機に雑誌等での発信を促進するため、雑誌社4社を招へいし、雑誌の特集等、自社媒体を使ってPRしていただきました。

(4) 観光宣伝DVDの作成

誘客宣伝PRキャラバン等のイベントでPRするため、伊勢の観光宣伝用DVDを作成しました。

2 御遷宮旅客受入基盤整備事業

第 62 回神宮式年遷宮を目前に控えた平成 25 年 7 月 20 日から、観光客の増加に伴う交通渋滞対策や公共交通機関の利用促進、観光客の市内周遊の利便性向上等のため、三重交通株式会社と協働で市内観光周遊バス「参宮バス」（外宮～夫婦岩ルート、スカイラインルート）の運行を開始しました。

協定先：三重交通株式会社

負担金額：19,173,000 円

運行期間：平成 25 年 7 月 20 日～平成 26 年 3 月 31 日

<外宮～夫婦岩ルート>

単位：人

月	宇治山田・松尾観音寺発	民話の駅蘇民発
7	189	319
8	1,157	1,566
9	1,004	1,444
10	1,362	2,052
11	1,366	2,094
12	1,106	1,744
1	1,150	1,826
2	782	1,369
3	1,164	1,679
計	9,280	14,093

<スカイラインルート>

単位：人

月	山上公苑発	内宮前発
7	33	31
8	65	56
9	106	81
10	153	165
11	146	127
12	158	128
1	221	223
2	91	77
3	120	111
計	1,093	999

※7月は20日からの12日間

観 光 事 業 課

○ もてなし心醸成事業関係

1 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 秩父宮賜杯第 45 回全日本大学駅伝対校選手権大会【平成 25 年 11 月 3 日（日）】

熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。市内の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援し、ゴール地点の内宮前にて景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。

(2) 2013 中日三重お伊勢さんマラソン【平成 25 年 12 月 7 日（土）～8 日（日）】

お伊勢さんマラソン大会のおもてなし部門として、7 日（土）に二見プラザにてウェルカムパーティーを開催した。

また、大会中は会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケット」を作成したほか、市内入浴施設の協力のもと大会参加者への入浴案内や市内の太鼓団体の協力を得て沿道で全国から参加した選手の歓迎と応援を行った。

(3) 第 7 回美し国三重市町対抗駅伝【平成 26 年 2 月 16 日（日）】

津市県庁前から市内にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内の太鼓団体と伊勢市女性団体連絡協議会が選手の歓迎と応援を行った。

2 おもてなし推進事業

(1) 車イス貸出事業

外宮周辺や内宮周辺を訪れる高齢や身体の不自由な観光客が安心して観光できるよう、伊勢市駅観光案内所と宇治浦田観光案内所において、車イスの無料貸出を行った。

・実績（平成 25 年度）

	伊勢市駅観光案内所	宇治浦田観光案内所
保有台数	4 台	6 台
貸出合計台数	186 台	797 台
月平均貸出台数	16 台／月	66 台／月

（注）平均貸出台数の端数は四捨五入

(2) 案内サイン整備事業

観光客が散策、回遊など行動しやすい環境を整えるため、下記のとおり観光案内サインの整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町茶屋 地内ほか	(注) 観光案内サイン設置 (その2) 工事	案内標識補修板設置工 4 か所 案内標識設置工 3基 案内標識板設置工 3 か所	円 5,097,750	25. 2. 1	25. 4. 24
岩渕1丁目 地内ほか	(注) 観光案内サイン設置 (その3) 工事	観光案内サイン設置工 2 か所 観光案内サイン修繕工 3 か所 大型標識設置工 1か所 大型標識修繕工 15 か所	21,702,450	25. 4. 12	25. 7. 19
吹上1丁目 地 内	(注) 伊勢市駅本屋コン コース案内サイン取付 工事	案内サイン取付工 1 か所	1,260,000	25. 5. 23	25. 7. 18
岩渕2丁目 地 内	(注) 近鉄宇治山田駅構内 観光案内所誘導表示 (フロアシート) 設 置工事	誘導表示シート取付工 1 か所	179,550	25. 5. 23	25. 6. 21
二見町今一 色地内ほか	(注1) 観光案内サイン設置 (その4) 工事	標識工 小型標識 2基 大型標識 2基 案内サイン修正 19 基 既設標識撤去・処分 8 基	12,739,650	25. 12. 27	26. 3. 14
宮後2丁目 地 内	(注2) 観光案内サイン修正 工事(伊勢市駅北口)	案内サイン修正 1 か所	945,000	26. 1. 24	26. 3. 9
計	6 件	—	41,924,400	—	—

(注) 基盤整備課施行、平成24年度から繰越

(注1) 維持課施行

(注2) 平成24年度から繰越

(3) 奉祝団体歓迎事業

全国から訪れる第62回神宮式年遷宮を奉祝する行事を受け入れ、市民及び観光客の安全を確保するとともに、これらの行事を多くの方々に楽しんでもらうことを目的とした「御遷宮奉祝行事受入実行委員会」において、下記のとおり受け入れとその準備を行った。

事業名	開催日	場所
神宮式年遷宮奉祝・福野夜高行燈	平成25年8月1日(木)	外宮～外宮参道 ～伊勢市駅

江戸芸かっぱれ	平成 25 年 10 月 13 日 (日)	伊勢市駅前広場
伊勢神宮式年遷宮奉祝 大田楽	平成 25 年 10 月 20 日 (日)	宇治橋袂～おはらい町～ おかげ横丁～神宮会館
神宮式年遷宮奉祝 太刀振り神事並びに笹囃子神楽	平成 25 年 11 月 3 日 (日)	伊勢市駅～外宮参道～ 外宮
御遷宮北海道民奉祝事業	平成 25 年 11 月 23 日 (土)	猿田彦神社～おはらい町 ～宇治橋前～おはらい町 ～猿田彦神社
M's Japan Orchestra 御遷宮奉祝公演	平成 25 年 11 月 24 日 (日)	外宮前バス停横広場
天皇皇后両陛下奉迎提灯行列	平成 26 年 3 月 27 日 (木)	宇治浦田駐車場～ 宇治橋前

(4) 観光人材育成事業

観光業者や飲食店等のおもてなし従事者等を対象に中国語でのおもてなし研修を実施し、おもてなしのスキルアップを図った。

日時	内容	場所	参加者	講師
26. 3. 6	熱烈歓迎！ ～中国からのお客様～	いせトピア	91 人	(一社) 国際交流支援協会 田村広生・唐文軒・谷秀霞 (株)旅行屋 河村 和郎 (公財) 三重県国際交流財団 筒井 美幸

(5) キャラクターおもてなし事業

伊勢市の観光PRキャラクターである「はなてらすちゃん」を活用し、グッズの作成等幅広くPRするため商標登録を行った。さらに県外での誘客PRへの活用、イベントの重複により「はなてらすちゃん」が使用できなくなることが無いよう、1体を新たに作成した。

また、伊勢市を訪れた観光客の皆さんをお出迎えするため、特大ぬいぐるみを制作し、伊勢市駅前手荷物預かり所に設置した。

(6) 二見浦駅にぎわいプロジェクト

二見浦を訪れる観光客に対するおもてなしを行うため、JR二見浦駅の駅舎内にパンフレットスタンドの設置、休憩用ベンチを整備した。

(7) おもてなし多言語化促進事業

伊勢市を訪れる外国人観光客が快適に過ごせるよう、民間事業者が経営、所有する施設に関する情報を英語等と日本語にて表記した場合の補助を実施した。

- ・実績 (平成 25 年度)

申請件数 3,833,000 円 (25 業者 28 店舗)

(8) デジタルサイネージ導入事業

市内各所の案内を観光客に映像で発信するため、デジタルサイネージ (モニター) を市内の観光案内所等に設置した。

設置箇所 6 か所（観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所）

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所及びの運営

伊勢市駅、宇治山田駅観光案内所における運營業務を（公社）伊勢市観光協会に、二見浦観光案内所における運營業務を二見町旅館組合等に委託した。また、三重県内では伊勢市駅及び宇治山田駅観光案内所が、外宮前観光案内所（注1）とともに、唯一の外国人観光案内所カテゴリー2（注2）に指定され、外国人旅行者に対しても積極的な観光案内を行った。

また、観光客が軽装で観光ができるようJR伊勢市駅横に手荷物預かり所を開設し、荷物の一時預かりや宿泊施設等への配送サービスを行った。

（注1）外宮前観光案内所は、（公社）伊勢市観光協会が直営

（注2）外国人観光案内所カテゴリー2：少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できる。

・委託金額 19,733,031円（契約期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(1) 伊勢市駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	6,044	7,104	6,142	7,365	9,433	8,024	8,873	8,909	7,611	7,649	5,716	6,807	89,677
外国人件数	338	205	248	320	297	194	223	172	141	146	111	176	2,571

(2) 宇治山田駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	4,645	6,707	4,560	5,616	7,706	7,312	5,906	5,882	4,853	4,822	3,225	4,708	65,942
外国人件数	79	59	47	73	48	67	60	59	29	27	42	62	652

(3) 二見浦観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	636	928	723	690	904	1,038	1,161	1,423	1,011	1,120	865	961	11,460
外国人件数	15	31	26	17	22	25	32	27	18	8	9	18	248

(4) 外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	8,569	10,333	7,678	8,530	11,615	11,677	15,218	15,230	10,528	11,042	8,516	11,023	129,959
外国人件数	193	101	62	78	126	95	120	97	100	51	58	59	1,140

(5) 宇治浦田観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	367	1,917	2,354	3,755	9,983	6,057	7,682	7,642	9,160	6,808	3,058	5,300	64,083
外国人件数	0	10	21	18	10	28	25	30	45	22	24	14	247

※宇治浦田観光案内所は、平成25年4月27日開所

(6) 手荷物預かり及び配送の利用状況 ※平成25年7月26日開所

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
荷物預かり	384	6,542	7,662	10,871	12,521	5,892	3,287	2,333	4,602	54,094
宿泊施設等配送	127	1,261	1,802	2,338	2,669	1,260	711	621	1,128	11,917
計	511	7,803	9,464	13,209	15,190	7,152	3,998	2,954	5,730	66,011

2 (公社)伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在として、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動している。

財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として助成した。

3 伊勢市駅前ほかイルミネーション設置工事

JR伊勢市駅前広場、近鉄宇治山田駅前広場の樹木にLEDイルミネーションを設置し、駅前の賑わいの創出、観光客受入のための光の演出を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上1丁目 地内ほか	伊勢市駅前ほか イルミネーション 設置工事	伊勢市駅前 LED イルミネーション設置 一式 宇治山田駅前 LED イルミネーション設置 一式	円 1,260,000	25.11.18	26.2.28

(注) 維持課施行

○ 観光施設管理運営事業関係

海水浴場管理運営事業

明治15年に「日本第一号の公設海水浴場」として始まった二見浦海水浴場の運営を平成25年7月6日～8月31日までの間行った。

海水浴場の管理運営については、(公社)伊勢市観光協会へ委託し、案内や駐車場管理、巡視看護等を行った。

また、海水浴場開設前には、海岸清掃を旅館組合等の観光関係団体、小中学校、保育園、地域住民が協力して行ったほか、企業のボランティア協力による機械でのビーチクリーンや清掃活動にも協力していただいた。

海水浴客数延べ 16,240 人 駐車台数 1,566 台

○ 伊勢市宇治浦田観光案内所整備事業

式年遷宮により訪れる多くの観光客に備えて、宇治地区にある宇治浦田お休み処を改修し、4月27日（土）に宇治浦田観光案内所を開所した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
宇治浦田 1丁目 地内	(注) 宇治浦田観光案内所（仮称）改修工事	建築工事 一式 電気設備工事 一式 機械設備工事 一式	円 7,077,000	25. 3. 22	25. 4. 26

(注) 建築住宅課施行、平成24年度から繰越

○ 伊勢市駅手荷物預かり所整備事業

式年遷宮により訪れる多くの観光客のニーズに対応するため、手荷物預かり所を整備し、7月25日に伊勢市駅手荷物預かり所を開所した。

(1) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上 1丁目 地内	(注) 伊勢市駅前手荷物預かり所新築工事	木造 2階建 新築 建築面積 98.54 m ² 延面積 139.12 m ² 所要室 1階：受付スペース、 倉庫、多目的便所 2階：休憩スペース、事務室、 授乳室、便所×2か所 電気、換気、給排水衛生 一式	円 30,776,550	25. 4. 5	25. 7. 18

(注) 建築住宅課施行、平成24年度から繰越

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 第6回美し国三重「寄せ植え」コンテスト【平成25年6月7日（金）～9日（日）】

外宮前広場で三重県種苗園芸協会の主催により、第6回美し国三重「寄せ植え」コンテストが開催された。コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、フレーム部門、マスター&プロ部門で競われ、三重県内から250点の作品が展示され、18,000人が来場した。

2 (公社)伊勢市観光協会との共同事業

(公社)伊勢市観光協会と協力し以下の事業を行った。

- ・春まつり
- ・第9回日本観光交流・伊勢会議及び第46回観光祈願祭
- ・観月茶会及び御幣鯛行事

- ・平成“食”のおかげ参り事業
- ・サイクルフォト事業

3 アクセスディンギー大会【平成 25 年 10 月 26 日（土）～27 日（日）】

宇治山田港にて開催される、障がい者や高齢者、子どもでも操船できるようにつくられている安全性の高い小型ヨットを使ったアクセスディンギー全国大会に対して支援した。

4 年末年始旅客の受入

外宮参道、伊勢市駅前広場付近において地元団体と共同で、初詣客におもてなしを行った。

（公社）伊勢市観光協会は、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇を行い、大晦日に内宮、外宮で年越し餅を配布するとともに、伊勢の文化を発信した。

5 スポーツ誘客推進事業

伊勢フットボールヴィレッジを活用して、更なる利用者を確保するため当該施設の情報発信、大会や合宿等の誘致、大会運営業務の委託事業を実施した。

委託期間：平成 26 年 2 月 7 日～平成 27 年 1 月 30 日（支払いは平成 26 年度）

また、伊勢市でのスポーツ大会や合宿を誘致することにより、経済効果を高めるため市内宿泊者数に応じた補助事業を実施したほか、補助制度の周知を図るため PR チラシを作成し、中部及び近畿地方の大学に送付した。

- ・実績（平成 25 年度）

申請団体 53 団体 補助金額 12,230,000 円 宿泊者数（延べ）13,628 人

PR チラシ送付大学数 195 校

○ 観光行事振興事業関係

1 神宮式年遷宮奉祝第 61 回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成 25 年 7 月 13 日（土）】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部 45 組、スターマインの部 10 組の 2 部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約 10,000 発が打ち上げられ、約 27 万人が観覧した。

オープニングには、3 年目となる東日本大震災の復興を祈念したスターマインを打ち上げたほか、神宮式年遷宮を奉祝して大会中盤にオリジナル曲に合わせてスターマインを打ち上げた。今回も NPO 団体の協力により、88 名のボランティアが、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

○ 民俗伝統行事推進事業

平成 25 年の「お白石持行事」が円滑に実施できるよう、地元奉獻団長で組織する「第 62 回神宮式年遷宮御白石奉獻団連合会」において、会議を重ね、奉曳の申し合わせ事項となる「奉獻要項」の策定や真夏の実施に係る暑さ対策の啓発に取り組んだ。

また、「お白石持行事」実施に向けての環境整備として、交通規制に係る規制・誘導看板や警備

員の配置、仮設トイレの設置や本部への看護師の配置などに取り組んだほか、「お白石持行事」に係る駐車場不足に対応するため、臨時駐車場の開設やパーク&バスライドなどの交通対策を講じた。

さらに伊勢への誘客事業として、中京圏の空の玄関口「セントレア」や日本及び世界へ文化・芸術を発信し続ける「六本木ヒルズ」にて、奉曳車の展示など伊勢の魅力を発信する誘客事業を実施したほか、全国への情報発信用のリーフレットを発行するなど、取り組みをおこなった。

＜お白石持行事実績＞

	日数	参加人数
地元奉獻団	16日間 (平成25年7月26日～9月1日の金・土・日)	153,000人 (77奉獻団)
特別神領民	20日間 (平成25年7月26日～9月1日の金・土・日・月)	73,675人

＜主な交通対策＞

臨時駐車場の開設	内宮周辺 1,350台 (グリーントピアほか) 外宮周辺 1,010台 (外宮貯木場ほか)
パーク&バスライドの実施	内宮奉獻期間中の7月27日(土)～28日(日)、8月3日(日)、10日(土)～11日(日) 5日間
シャトルバスの実施	外宮奉獻期間中のお白石持行事実施日 10日間
交通対策の周知	お白石持行事に係る交通対策を市内外に周知するため、交通案内図の印刷、新聞折り込み他、ホームページや行政番組を活用し、周知を行った。

＜主な誘客事業＞

首都圏誘客PR事業	「遷御の儀」を終えたばかりの新しくなった神宮の情報を発信するため、日本及び世界へ文化・芸術を発信し続ける「六本木ヒルズ」でPR事業を実施 【期 日】平成25年10月29日(火)～11月4日(月・祝) 【場 所】六本木ヒルズ ヒルズカフェ 【内 容】写真展、お木曳奉曳車展示、リーフレット配布 他 【来場者】約412,000人(ヒルズカフェ前通行者含む)
中部国際空港誘客PR事業	中部地方の空の玄関口「中部国際空港」にて誘客PR事業を実施 【期 日】平成25年4月12日(金)～5月10日(金) 【場 所】中部国際空港3階 出発ロビー中央 【内 容】奉曳車展示(準備含む)、木遣り披露、リーフレット配布 【接触者】展示期間中の接触者 約445,000人

○ 伝統的観光行事振興事業

伊勢のまつりブランド化推進事業【平成25年10月14日(月・祝)～15日(火)】

日本全国の有名な祭り24団体、約1,600名による饗演「祭りのまつり」が15日(火)に外宮周辺で開催され、前日の14日(月・祝)には三重県営サンアリーナにおいて前夜祭が行われた。

また伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が15日(火)には外宮領、16日(水)には内宮領にてそれぞれ行われた。

観客数延べ 99,500人(10月14日～16日)

○ 緊急雇用創出事業

1 観光客受入体制整備事業

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日までの 10 か月間、臨時職員を 1 名雇用し、御遷宮に伴う観光業務や、観光客に対する情報発信及び受入体制の調整等を行った。

2 市内周遊案内事業

御遷宮にあわせて大勢の観光客が訪れることから、嘱託職員を 5 名雇用し、観光案内所等で観光客の案内業務を行った。

雇用期間：平成 25 年 11 月 20 日～平成 26 年 3 月 31 日 2 名

平成 26 年 12 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 2 名

平成 26 年 12 月 16 日～平成 26 年 3 月 31 日 1 名

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開 催 日	名 称
25. 4. 6 (土) ～ 5. 6 (月・祝)	第 1 回朝熊山春まつり
4. 20 (土) ～ 4. 23 (火)	L a F e s t a P r i m a v e r a 2013
4. 20 (土) ～ 4. 21 (日)	西日本OBサッカー連盟全域大会R・V三重大会
5. 1 (水) ～10. 31 (木)	平成 25 年の伊勢参り記念局運用
5. 3 (金・祝) ～ 5. 11 (土)	猿田彦神社御田祭
5. 5 (日・祝)	読売杯第 28 回日本少年野球中日本大会
5. 5 (日・祝)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 15 (水)	第 9 回日本観光交流・伊勢会議 (第 46 回日本観光祈願祭)
5. 18 (土) ～ 5. 19 (日)	第 28 回伊勢楽市
5. 25 (土)	大仏山公園スプリングフェスタ
6. 22 (土) ～ 6. 23 (日)	25h伊勢志摩舞祭り
7. 7 (日)、9. 8 (日)	G h e t t o R e d H o t
7. 14 (日)	第 29 回二見大祭しめなわ曳
7. 20 (土)	第 25 回神宮奉納伊勢薪能
7. 20 (土)	第 4 回東日本大震災チャリティーイベント i n伊勢安土桃山文化村
7. 20 (土) ～ 7. 21 (日)	第 1 回伊勢レディースカップ
8. 1 (木)	神宮式年遷宮記念第 16 回八朔参宮 「伊勢神宮外宮さんゆかたで千人お参り」
8. 1 (木)	第 10 回外宮さんちびっこ博士グランプリ
8. 7 (水)	第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉祝「鎮守の里」コンサート
9. 14 (土)	第 29 回伊勢音頭フェスティバル
9. 14 (土) ～ 9. 16 (月・祝)	第 46 回全日本社会人体操競技選手権大会
9. 16 (月・祝)	車いす d e 伊勢神宮参拝プロジェクト
9. 19 (木)	観月茶会

10. 5 (土) ~10. 6 (日)	奉祝御遷宮 第一回なでしこたちの祭典 ～伊勢の女神力で輝こう～
10.12 (土) ~10.13 (日)	第9回神宮奉納全国惑ラグビー伊勢大会
10.14 (月・祝) ~10.15 (火)	第13回大神嘗奉祝祭「祭のまつり」
10.20 (日)	伊勢 大田楽
10.26 (土) ~10.27 (日)	平成25年第六十二回神宮式年遷宮記念 アクセスディンギー大会
10.19 (土)	大仏山公園オータムフェスティバル
10.20 (日) ~11. 6 (水)	倭姫宮 秋の大祭
10.26 (土) ~10.27 (日)	第11回神恩感謝 日本太鼓祭
11. 3 (日・祝)	秩父宮賜杯第45回全日本大学駅伝対校選手権大会
11. 3 (日・祝)	2013 お伊勢さん全日本男女混合綱引大会
11. 8 (金) ~11.10 (日)	全米女子ゴルフ協会公式戦 ミズノクラシック
11. 9 (土) ~11.10 (日)	第62回神宮式年遷宮奉祝 伊勢楽市
11.10 (日)	k o m i c h i m a r k e t
11.15 (金)	猿田彦神社七五三祭
11.17 (日)	夫婦の町の中心で愛を叫ぶ“めおチュー”
11.21 (木) ~11.22 (金)	真珠婚おかげ参り 真珠婚おかげ参りWelcome Party
12. 1 (日)	第32回伊勢志摩中日ウォーク
12. 1 (日)	第5回東日本大震災チャリティーイベント i n伊勢安土桃山文化村
12. 7 (土) ~12. 8 (日)	第8回ヒストリックカー ミーティング i n伊勢志摩
12. 8 (日)	検定「お伊勢さん」
12.15 (日)	第25回伊勢民踊まつり
12.28 (土) ~26.1.1 (水)	第41回伊勢迄歩講
26. 1.11 (土) ~ 1.13 (月・祝)	第19回全日本ユース (U-15) フットサル大会 第4回全日本女子ユース (U-15) フットサル大会
2.15 (土) ~ 2.16 (日)	第5回おひなさまカップ i n二見
3.21 (金) ~ 3.23 (日)	第17回伊勢市高校サッカーフェスティバル
3.29 (土) ~ 4.13 (日)	五十鈴川桜まつり
3.30 (日)	「わいわい広場2014」 i nサンアリーナ
3.30 (日)	第62回神宮式年遷宮奉祝 第59回神宮奉納大相撲

○ 災害に強い観光地づくり事業

観光客の生命を守るために二見地域の観光客津波緊急避難マップの避難ルートに津波緊急避難場所誘導看板を設置し、観光客がスムーズに津波から避難できるような環境整備を行います。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内ほか	(注) (注1) 観光客避難誘導看板 設置 (その1) 工事	看板設置工 15基	5,229,360円	26. 4.25	26. 7.11

(注) 監理課施行、平成26年度へ繰越

(注1) 防災施設整備課から執行委任